発行所 東京都新宿区新宿7-17-18
戸山マンション241号 〒160
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3202-0572
FAX 03-3202-0830
振替 00150-7-173434
編集兼発行人 後藤英子
発行日 平成9年6月20日

JAUW

おもな記事

1面 会長あいさつ，第40回通常総会記録
2面 全国セミナー，支部長懇談会報告，支部長名簿，新入会員名簿
3～8面 96年度事業報告，97年度事業計画
9～10面 UWA総会報告，国内奨学生募集要項，96年度決算報告，97年度予算

第40回通常総会特集

社団法人 大学婦人協会 第40回通常総会記録

日時 一九九七年四月二日（水） 9時10分～16時30分
場所 名古屋市 アイリス愛知
出席者 二一〇名 委任状九五九名 計一、一六九名
出席支部 小樽・札幌・秋田・仙台・新潟・茨城・栃木・長野・東京・神奈川・静岡・愛知・岐阜・金沢・京都・奈良・大阪・神戸・岡山・広島・愛媛・大分・熊本・福岡 函館・福島・群馬・福井・高知・山口・長崎・鹿児島 以上24支部
欠席支部 以上8支部

《午前の部》

会議開始 司会 山中 照子
総会成立確認 鈴木 光子
定款第5章32条に基づき、正会員1976名の1/5（395名）以上の出席により総会が成立することを確認する。
開会の辞 会長 丸山 庸子
議長承認 定款第5章29条により、丸山庸子会長が議長となる。 **承認**
黙禱 逝去会員15名のご冥福を祈って、一同起立、黙禱。
書記選出 本部 鈴木 光子・有本 玲子
愛知支部 林 依里子・妹尾 瑤子 **承認**

報告

1. **総務** 有本 玲子
「96年度事業報告」参照
2. **委員会** 各委員長
「96年度事業報告」参照
3. **支部** 各支部長
「96年度事業報告」参照
4. **国庫補助事業（JAUWセミナー）について** 今井 けい
「96年度事業報告」企画委員会の項参照
平成8年度（96年度）文部省国庫補助事業については、
(1) テーマ「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」についての調査・研究（11支部参加）
(2) 「IFUW-JAUW平和研究奨学金」へ日本から応募した「日本における平和教育」の中間報告（1委員会・1支部参加）
(3) 下村満子氏の講演「何故女性がディシジョン・メイキングへ参画しなければならないのか」
(4) 根岸愛子氏・勝又幸子氏によるヤング・メンバーの情報交換のためのパソコン教室等、4部からなる全国セミナーを、96年9月29日(日)ホテル・ストラーダ新宿に於いて開催した。
「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」については、
(1) 支部発信型
(2) 調査・研究から実現への提言と行動
(3) 研究発表からシンポジウムへ、の3点に特に留意した。その成果は報告書にまとめ、3月に完成、配布した。同時に95年第25回IFUW国際会議の報告書を作成、配布した。またセミナー決議に基づく要望書を作成、関係省庁は勿論、各支部を通じて、地域自治体・教育委員会等に提出した。
会員を発表者とするシンポジウムは初めての試みだったが、発表支部の的を射た事前調査と、度重なる発表予定原稿の支部間での往復を背景に、密度の濃い充実したセミナーとなり、参加者は215人に及んだ。
文部省から250万円の補助を受け、本協会からもそれに見合う自己負担金を拠出して事業を行った。
前記1～4.につき数々の活発な質疑応答の後、本部・支部「96年度事業報告」 **承認**
5. **会計**
A. **一般会計** 駒木三枝子
96年度収支決算並びに資産状況
「96年度収支決算報告書」参照
B. **特別会計** 阿南 糸代
国庫補助事業収支報告
「平成8年度国庫補助事業特別会計収支決算報告」参照
一般会計の各費目に対する主な質問に対し、次の様な答があった。
＊今年度、事務員が退職したが、予備費を退職金に当てた。
会計処理の方法については公認会計士の指導を受けた。
＊超低金利のため国外奨学金基金から得られる利息が例年になく減少し、今後どの様に考えたら良いか検討している。
監査報告 鈴木 照子・根岸 愛子
3月26日、本部事務所において監事2名が同席の上、本協会の一般会計96年4月1日～97年3月21日までの収支決算報告・貸借対照表・財産目録について元帳・各種領収書・預金通帳・及び現金と照合して監査を行った。また、同日、平成8年度国庫補助事業特別会計についても同様に監査を行った。その結果、資産の管理・運用、会計の処理・記帳、ともに適正に表示してあると確認されたので、そのことを報告する。
この決算は96年4月1日～97年3月21日の収支決算並びに資産状況である。3月22日～31日までの分を加えた収支決算報告書は総会後に作成し、あらためて監査をした上、理事会の承認を受けるが、その理事会の承認をもって総会の承認にかえさせていただきたい。正式な収支決算報告書・貸借対照表は6月発行の「会報186号」に掲載する。
一般会計、特別会計 承認

《午後の部》

審議

1. **97年度事業計画案**
A. **委員会** 各委員長
「97年度事業計画」参照
B. **平成9年度国庫補助事業（JAUWセミナー）について** 山中 照子
(1) 国庫補助事業（JAUWセミナー）のテーマは「女性と職業－その障碍と支援について」
(2) IFUW-JAUW平和研究奨学金プロジェクトに日本から応募し、採択された「日本における平和教育」の中間報告の2本立てとする。
テーマについて：男女共同参画社会の実現のためには、男女とも多様な働き方が可能な社会環境の整備が必要である。高等教育を受けた女性が職業をもって働き続けるには、どのような障碍があるかを掘り起こし、その問題点の特徴を明らかにすると同時に、障碍を克服するためにJAUWとして何ができるか、具体的な支援活動を各支部の実状にあわせて考え、それを今後の各支部の活動に出来たらと願っている。
＊セミナーのテーマについて、次の様な質疑応答があった。
問：いつもIFUWのテーマとJAUWセミナーのテーマが何の関連もないのはどうしてか。
答：前年度のセミナーを受けて必然的に出てくる課題を、当年のテーマにすることが多い。勿論IFUWのテーマと深く関係している。
［注：JAUWの96年度セミナー「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」及び97年度のテーマ「女性と職業」は、両方とも支部長に昨年既に配布した96年度のIFUW回状8の中に、第26回IFUW国際会議のテーマ「Interdisciplinary Seminars及びワークショップ」として含まれている］
セミナーのテーマは、全体的に統一される方がやり易い。支部では独自のテーマを追求することも可能である。
問：支部で続けているだけでは、国際会議に出席できない。
答：本部に報告していただき、理事会で承認すればJAUWの代表として国際会議には出席できるので、申し出ていただきたい。
私達にとって今一番切実な問題に的確に答えるため、今年は「女性と職業」をとりあげた。
C. **支部** 各支部長
「97年度事業計画」参照
前記1.（A. B. C.）につき **一括承認**

2. **97年度予算案（会報185号）参照** 井口美登利
例年と異なるところは、固定資産売却収入及び固定資産取得支出・若手会員育成金の項目である。
その他、今年度予算について詳しい説明があった後、この予算案につき承認を求めたところ **承認**

3. **若手会員育成金規程について** 今井 けい
各支部の状況により様々な意見交換があったが、国際会議からの剰余金であり、「1. 若手会員の国際会議出席のための渡航費支援、4. 応募資格及び条件など」は前総会でも承認済みのことで既に行われていることであり、勿論続ける。
他は

4. **剰余金の使途について** 会長
既に会報184号に掲載されているが、国際会議の開催が危ぶまれた、経済的・社会的に非常に不安な時代にも拘らず国際会議準備委員会の担当の方々の熱心な努力により、予測以上の寄付が集まり、思いがけない額の剰余金がでた。その剰余金をかねてからの懸案であった手狭ま・交通不便且つやや古くなった事務所の買い換えに使いたい。
事務所購入につき、満場一致で **承認**

懇談

司会 今井 けい

1. **97年度事業計画（国庫補助事業）について** 山中 照子
先ほど提案された「環境問題をJAUWの研究テーマとする」ことについては、理事会で検討したいと思う。

2. **国際会議について** 会長
98年8月19日～26日にオーストリアのグラーツで開催される第26回IFUW国際会議に於いて、日本からIFUW-JAUW平和研究奨学金に応募し、採択された「日本における平和教育」が発表される。その折には

今年は季節のめぐりが常より早く、満開の桜花の下、4月2日名古屋市アイリス愛知において第40回通常総会が開催されました。総員210名のご参加を得て、総会、その前日の支部長懇談会、評議員会、懇親会と和やかな内にも活気に満ち、何れも滞りなく終了いたしました。殆ど一年前からご準備に心を砕かれた小谷野支部長をはじめ愛知支部の皆様や、全国からご参加下さった会員の皆様に心から御礼を申し上げます。

本総会から先ず皆様にお知らせしたいことは、暫くご出席のなかった函館支部、仙台支部、愛媛支部が活発な活動を開始されたご報告があったことです。どの支部も進展の気運に満ち、再発足の総会或いは、学習会開催の模様を伝えられ感慨を覚えました。また、多数の支部から昨年度のセミナー「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」の決議・要望書を各地域の自治体等へ持参され、多大の関心を示されたとの報告がありました。活動がじかに社会に反映してゆくことは私たちの目的とする処であり、嬉しいことでした。

また、本総会では国際会議終了以後懸案でありました剰余金の使途について、既に実施しております若手会員育成金のほかに、事務所買い換えの提案が満場一致で承認されました。またこの折、フロアから満足のゆくものが購入されるよう、もう少し募金をしてはどうかとの案が提出され（臨時総会でも提案された）、これも皆様のご承認を得ました。理事会ではその後早速小委員会をつくり、検討を始めています。今後の本協会の発展を支えるものとなりますよう是非皆様のご協力をお願い致します。若手会員育成金については、国際会議への旅費支援のほかに臨時総会での提言をもとに国内会議への出席や、幅広く若手会員の活動の支援を提案しましたが、意見がまとまらず次期迄持ち越しとなりました。会員増員についての諸策検討の中、大学婦人協会の名称を変えるべきであるとの沢山の意見を頂戴しました。大学女性協会、大卒女性協会、JAUW、JAWG、これらが目下提出されている主なものですが、これも一度支部に持ち帰っていただき、一年をかけ皆様から募集し次期総会で決することにいたしました。本協会の真髄を捉えた名称をお寄せ下さい。

その外、会の活動プログラムや国内奨学金などにつきいろいろご意見を頂きました。よく検討し今後の会運営に皆様のご意志を反映するよう努めたいと思っています。

さて、今年度の国庫補助事業のテーマは「女性と職業－その障碍と支援について」と決定しました。創立20周年を迎える国立婦人教育会館で、10月18日、19日に行いますこれは昨年度のテーマから必然的に求められたもので意志決定の場につくにはキャリアの積み重ねが是非とも必要であるのに、女性には育児・介護・その他慣習による抑制が多くこれをどう克服するか、どう支援できるかを中心課題に据えようとしています。

就職難事情、職業と健康、少子化、企業サイドの女性労働への意見、育児・介護支援、働き方の多様化とパートの激増など、山程の課題があります。どの切り口からも女性の生き方の根幹への考察が生まれるでしょう。若い人々、或いは企業へも問いかけて取り組みが進められるこ とと思います。この程、国連婦人の地位委員会からの報告（有馬真喜子氏）に「今、glass ceilingと共にsticky floor（底辺にはりつけられている）が流行語になっている。この分析から資格と職業に橋を架け、仕事の場でその成果を目に見える形にして、女性登用のシステムをつくることこそ重要だと云われている」とあり、改めて世界共通の問題の根の深さを痛感しました。

昨年9月、中間報告の行われた平和教育研究はIFUW奨学金を受賞し、98年グラーツ総会で発表と決まりました。教育委員会と広島支部がこの研究を継続、さまざまな教科書による平和への取り組みの分析、広島での原爆の扱われ方など注目される内容を含み、優れた研究成果が得られるものと期待しています。

本年7月23日～25日にはジュネーブでIFUW評議員会が開かれます。中村道子元会長は、ワークショップのスピーカー（北京行動綱領実施のための戦略について）として、また他に会員4名、若手会員1名が出席の予定です。ユネスコ主催の21世紀に於ける高等教育」のアジア地域会議が7月（8～10日）国連大学で開かれ、会員4名が参加します。

セミナー後、ご協力いただきました人材名簿は、文部省・総理府に提出大変喜ばれました。

足もとを固めつつ、視界はグローバルに定め、今年も皆様と共に男女共同参画社会の推進に向け精一杯の努力を重ねたいと思うものです。

総会を終えて
―託された課題―

会長 丸山 庸子

若手会員にもなるべく沢山出席していただきたいので、規程により例年より多く選考する予定である。

3．会員の増員について　会長

(1) JAUWのメイン事業である国内奨学金の一人当たりの額をもっと増やし、支部と奨学生との連携を密にしたらどうか。

(2) 大学婦人協会という名前を変えたらどうか。

(3) 名前を変える事以上に、魅力ある会にするには、魅力のあるプランを持つことが大事である。

(4) 大学院生の会費を減額したらどうか。

(5) リーフレットはもう少し分かりやすい、くだけた表現がよい。

前記の様な活発な意見が交わされた。特に、(2)については、「大学女性協会」「大卒女性協会」「JAUW」「JAWG」等種々の提案が出されたが、次期総会まで1年かけ会員から募集して決めたいので、ご協力をお願いしたい。

4．その他　会長

＊剰余金の使途について

次の提案が出された。

問：剰余金を事務所買い換えに使うことは承認されたが、現在の予算では希望する物件は買えない。折角の機会なので募金をして適切な物件を購入したらどうか。

答：場合によってはお願いするかもしれないが、理事会にお任せいただきたい。募金をすることに決まったらご協力をお願いしたい。

採決をしたところ大多数の賛成により　**承認**

＊大学婦人協会と外部の団体との関連

問：国連NGO国内婦人委員会には丸山庸子会長と中村ミチコ元会長が副委員長として大変活躍しておられる。国際人権規約完全実施促進連絡会議・男女共同参画推進連携会議等にも大学婦人協会として丸山庸子会長が参加、何れもとても有意義で重要な会議なのでこのことを報告書に記載していただきたい。

答：これらの会については、その都度理事会記録には記載されている。国際第二委員会の報告の中に加えたい。

5．次期総会開催地について　会長

第41回総会は金沢支部のご好意により、98年4月5日（石川県金沢市）で開催することとする。

次期総会開催承諾についての挨拶
金沢支部長　山村　福子

謝辞
茨城支部長　吉田　英子

閉会の辞　今井　けい

以上をもって本日の議事全部を終了したので議長は閉会を宣した。前記決議を明確にするためこの議事録を作成し、議長及び出席者代表2名は次に記名押印する。

97年4月2日
社団法人　大学婦人協会
総会
議長（会長）　丸山　庸子
署名人　井口美登利
署名人　松沢美仁子

《97年度全国セミナー》「女性と職業－その障碍と支援について」

企画委員会委員長　山中　照子

昨年のセミナーは、三年連続のテーマ「高等教育と女性－その社会的還元」の一環として、「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」を国庫補助事業のテーマとして開催された。それは、95年のIFUW国際会議の熱気を受けて、新しい企画のもとに行われた充実したセミナーであった。女性が働き続けることが困難なためにキャリアを積むことができず、そのため政策・方針決定の場に参画することができない。したがって、働き続けることがディシジョン・メイキングへの参画の第一歩であるという結論が得られた。

そこで今年度は、これまでのセミナーの成果を背景にして私たちの活動をより活発に行動に移してゆくために、「女性と職業－その障碍と支援について」を国庫補助事業のテーマとすることが4月の総会で了承された。このテーマは、高等教育を受けた女性が職業をもって働き続けるにはどのような障碍があるかを明らかにするため、M字型就業形態で示される各ライフステージにおける実態調査からその問題点の特徴を究明し、その障碍を克服するために私たちJAUWには何ができるかを考え、具体的な支援活動に展開してゆくことを目的としている。

本年度のテーマは、私たちにとって身近な問題であり、また、これまでのセミナーでも関連した調査研究が一部なされているので、新企画委員会ではサブテーマとして次の四つの大きな柱だけを用意することに留めた。各支部においては支部の実状に合わせ、調査の過程でできるだけ多くの会員が、若い女性あるいは企業の人々との意見交換ができるように、また、今年もセミナーの活動が今後の支援活動に継承されてゆくように計画されることを希望している。

本年度セミナーの概要

テーマ
「女性と職業－その障碍と支援について」

サブテーマ
1 女子学生の就職問題
2 育児支援と働く女性の健康－少子化を考える。
3 企業の女性労働対策
4 再就職問題

日程　10月18日(土)と19日(日)

場所　国立婦人教育会館

サブテーマについて

1について。 1あるいは2に関連した問題を選ぶ場合は、先ず、若い女性の職業観や職業人としての実態把握が必要であろう。1の中には男女雇用機会均等法の問題、女性の職域の拡大、進路指導の問題、職業意識の育成など多くの課題が含まれる。

2について。 少子化問題は、昨今、社会の大きな関心事であり、そのため、あらゆる面で仕事と家庭の両立が容易になる制度の充実が緊急課題になっている。また最近、均等法の改正と併せて女子保護規程撤廃の法案が国会に上程され、女性のパート化や家庭生活への影響が懸念されている。具体的には、育児休業制度の普及度と問題点、保育サービスのニーズの多様性と実態、働く女性の健康問題などの課題が山積している。

女性だけが育児を背負っていては、企業の中での女性労働力の評価は高まり難い。後進の女性が就職に際して差別されないためにも、家庭と職業が両立するよう若い人々と共に考えたい。

3について。 企業の問題についてはどれだけ調査できるか難しい点が多いが、少しでもメスを入れてゆきたい。この問題には1、2、4すべてが関係する。

4について。 パートタイム労働の問題をはじめ多くの課題が含まれる。

以上、今年度の国庫補助事業のテーマについてその概要を述べたが、会員諸姉のご協力で楽しく充実したセミナーにしたいと考えている。

支部長懇談会報告

愛知支部長　小谷野　錦子

小樽支部から熊本支部まで20支部長と理事16名が参加して行われた。各支部からこれまで取り組んできたこと、これから取り組むことなど、支部が抱える問題点が提起された。

共通の問題点として支部会員が高齢化したこと、働き盛りの若手会員が退会していくことから会が活性を失ってきたことが指摘された。これに対して、さまざまな支部で特長のある活性化の取り組み例が紹介された。愛媛支部からは会員5名の小さな会であるが、若手会員を中心に熱心に活動する様子が報告された。主なものを次に上げる。

1．国際協力

神戸支部では、会の活動は時代とともに変わっていかなければならないと考え、IFUWのビーナ・ロイ基金を支援することになった。愛知支部はカナダ＝ノースバンクーバー支部との姉妹提携を始めたが、愛知支部だけでは対応できないので各支部の協力を得たいとの依頼があった。

2．ディシジョン・メイキング要望書

岡山支部では、95年IFUW総会後、国外参加者のホームステイを引き受けてから若い会員が活発に活動するようになった。96年度は、「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」の要望書を持って岡山県知事と面会し話し合った。愛媛支部では「松山女性フォーラム」に参加したこと、「ミュンヘン市役所の取り組み」の英文和訳で市に協力した。

3．アンケート調査依頼

広島支部から「わが国の平和教育」について中学・高等学校ではどのようになされているか現状を調査するためのアンケートの依頼があった。愛知支部からIFUW環境ネットワークから「アジェンダ21推進」についてのアンケートの依頼があった。

4．盛んな支部の出版

50年あるいは30年記念誌を出版した支部には、金沢支部、神戸支部、岡山支部などがあったが、これから出版を予定しているところも多くあった。ディシジョン・メイキングへの参画に関して茨城支部、岡山支部、秋田支部から出版報告があった。

5．小樽支部から、会の規約によると支部は都道府県に各一つということになっているが、北海道には3支部ある。都市単位について、どのように考えているかという疑問が出された。

6．会としての広報活動をもっと盛んにするよう、例えば申込書等のパンフレットに工夫が欲しいという意見が出された。

7．秋田支部からは大学婦人協会の国際的な地位や活動が分からないので、支部に出向いていただきたいという要望があった。

懇談会の話題は以上のようであった。本部からの支援を受けて活動が再び始まった支部もある。全体として支部活動は着実に進んでいるように見受けられた。特に96年度のディシジョン・メイキングへの参画セミナーを契機に行動へと支部が動き始めたといえよう。

社団法人 大学婦人協会支部長名簿（1997年度）

1997年5月31日現在

支部名	氏名	出身校	〒	住所	電話
小樽	吉田喜美子	東女	047	小樽市稲穂1-8-1303	0134-32-3132
札幌	佐々木 幸	茶・北海道	004	札幌市厚別区青葉町4-9-22	011-893-2215
函館	大沼 行子	日女	040	函館市松陰町15－2－405	0138-54-1636
秋田	橋本 澄子	茶	010	秋田市牛島西2-11-11	0188-33-6150
仙台	藤崎千代子	聖	984	仙台市若林区土樋291	022-223-2707
福島	関口 富左	和洋	963	郡山市桑野1-22-20	0249-32-1466
新潟	宮山 弥生	新潟	950-21	新潟市坂井砂山2-7-24	025-260-1053
茨城	吉田 英子	茶	309-17	茨城県西茨城郡友部町美原2-8-4	0296-77-6749
栃木	増淵 民子	津	320	宇都宮市昭和3-1-32	0286-22-3922
群馬	北爪江美子	群馬	371	前橋市南町4-26-4	0272-21-0337
長野	落合 澄子	日女	380	長野市桜新町5-36	026-241-4313
東京	比留間淑乃	日女	107	東京都港区南青山2-9-29	03-3401-4401
神奈川	松比良節子	京都・院	244	横浜市戸塚区下倉田町18-1 ブロードスクエア1320	045-871-0252
静岡	鍋倉 伸子	京都	424	清水市上清水町14-39	0543-52-0748
愛知	池田恵美子	日女	458	名古屋市緑区ほら貝1-264	052-876-3454
岐阜	松井 恵美	津	502	岐阜市長良雄総880-103	0582-32-5010
金沢	山村 福子	日女	920	金沢市小立野1-5-1-406	0762-62-8640
福井	木村 温美	茶・慶	916-02	福井県丹生郡宮崎村蝉口4-21	0778-32-3037
京都	橋本 吉恵	同大	606	京都市左京区下鴨北園町63-4	075-791-0707
奈良	大村 都	奈女	631	奈良市西登美ケ丘1-19-18	0742-46-8625
大阪	角田くに子	東女	557	大阪市西成区玉出中2-7-9	06-661-2791
神戸	富田伊勢子	京府	659	芦屋市東山町25-24	0797-34-1069
岡山	高田 武子	日女	703	岡山市門田文化町2-4-4	086-273-8182
広島	青山 君子	筑	730	広島市中区舟入本町18-2	082-232-5672
山口	松岡 静子	日女	743	山口県光市浅江5-25-3	0833-78-0131
愛媛	太田万寿子	京府	790	松山市道後湯月町4-10ホテル川吉	0899-41-8272
高知	池川 順子	東京	780	高知市本町3-6-15	0888-75-7396
大分	井上 富江	岡山・モンペリエ院	874	別府市乙原一組	0977-24-1497
熊本	安部 秀子	福女	860	熊本市清水東町15-14	096-344-8040
福岡	篠原しのぶ	九州・院	815	福岡市南区大橋4-28-7-501	092-561-4024
長崎	未定				
鹿児島	大久保美智子	日女	891-01	鹿児島市皇徳寺台4-51-6	0992-65-6375

新入会員（34名）1997年2月～5月　理事会承認

仙台支部
藤井 キヌ（実）　981－31　仙台市泉区松陵3－21－4
若菜 令子（聖）　984　仙台市若林区土樋243－2

新潟支部
吉谷 美知子（日女）　951　新潟市寄居町700－1　プレジデント寄居302

栃木支部
加藤 知佐子（日女・院）　320　宇都宮市中河原町4－9－301
野中 美保子（津）　338　浦和市上木崎1－2－1　フロントシティ与野302

群馬支部
北爪 江美子（群馬）　371　前橋市南町4－26－4

東京支部
泉 敬子（実）　187　小平市小川町2－1153
小河原 俊子（実・院）　367　本庄市銀座1－4－4
奥田 順子（大女）　215　川崎市麻生区白鳥3－10－5－4
荻野 寿子（日女）　168　武蔵野市中町2－4－12
武末 明子（一橋）　156　世田谷区桜丘4－11－12
安武 真佐子（米ハイデルベルグ・カレッジ）　157　世田谷区成城6－30－19

神奈川支部
鎌田 泉（慶）　232　横浜市南区井土ヶ谷中町36
国友 永子（早）　243－04　海老名市国分北1－31－23

静岡支部
伊藤 嘉奈子（京都）　420　静岡市鷹匠3－1－20－1001
谷 敬子（九州）　424　清水市草薙207－1－101
塚本 久美子（東洋）　420　静岡市川合1066－2

金沢支部
井原 彰子（東女）　921　金沢市泉野出町1－2－5－303

京都支部
大久保 有美（同女）　606　京都市左京区下鴨貴船町87
河合 泰子（同女）　604　京都市中京区東洞院六角下ル
川口 治子（日女）　602　京都市上京区下立売通室町東入五丁目町185
木村 まさ（同女）　616　京都市西京区嵐山上海道町73－11
空閑 知子（同女）　621－02　亀岡市本梅町西加舎大畑21－4
久保 宜子（日女）　611　宇治市宇治又振5
斎藤 ちあき（奈女）　610－01　城陽市寺田大畔10－11
塩谷 眞瑳子（日女）　606　京都市左京区浄土寺小山町1－13
鈴木 勝美（日女）　606　京都市左京区下鴨北園町110－2
多田 美智子（日女）　604　京都市中京区寺町竹屋町藤木町24

奈良支部
川崎 和子（奈女）　619－02　京都府相楽郡木津町兜台5－5－405

神戸支部
粟生 太佳子（津）　661　尼崎市東園田町3－79－11
海上 しのぶ（津）　657　神戸市灘区上野通8－9－6
宮井 寿美子（東女）　659　芦屋市業平町3－16
吉田 敬子（津）　657　神戸市灘区鶴甲4－11－6

岡山支部
多久和 曉美（奈女）　703　岡山市今在家448－2　ファミーユビボD102

会員名簿発行のお知らせ

本年10月、4年ぶりに会員名簿を発行いたします。**名簿用払込用紙**（6月発行の会報186号に同封）にて**8月末日までにお申し込みください。**

1部　1,000円　　送料　400円

1．支部でまとめてお申し込みの場合は、支部会でお手渡しします。（送料本部負担）
2．本部事務所で、払込票兼受領証と引き替えにお手渡しします。
3．全国セミナー会場（国立婦人教育会館）で、払込票兼受領証と引き替えにお手渡しします。
4．郵送ご希望の方は、1,400円をお払い込みください。

必ず**名簿用払込用紙に、支部・住所・氏名・通信欄（上記1.～4.のいずれかに丸印）を明記**してお払い込みください。

なお、**住所等の変更は、7月10日まで**にお届けくださいますようお願いいたします。

会員委員会

社団法人 大学婦人協会
一九九六年度 事業報告
一九九七年度 事業計画

書記 有本 玲子　鈴木 光子

総務報告

組織（1997年3月2日現在）
会員
　正会員 1976名
　（内本年度新会員）111名
　賛助会員 13名
理事 18名
監事 2名
役員選考委員 7名
評議員 32名
支部 32支部

事業
1. 96年4月3日第39回通常総会をつくば市、筑波第一ホテルにおいて開催
2. 定例理事会11回、臨時理事会1回を開催、それらの議事内容は理事会記録を通じて評議員（支部長）に、また決議事項は会報『JAUW』により会員に報告
3. 平成7年度国庫補助事業実績報告書を4月1日文部省に提出
4. 平成8年度都民税均等割免除申請書を新宿都税事務所に提出し、免除法人として承認された。
5. 平成7年度事業報告を5月29日文部省に提出
6. 理事及び監事異動届を平成8年6月27日文部省に提出
7. 平成9年度国庫補助事業計画案はテーマを「女性とキャリア－少子化を考える－」とし、国庫補助金200万円の申請を含む事業計画書を7月18日文部省に提出
8. 平成8年度国庫補助金交付申請書を7月18日文部省に提出
9. 96年9月28日新宿京王プラザにおいて、大学婦人協会50周年祝賀会を開催
10. 大学婦人協会50周年記念として『大学婦人協会五十年史』を800部制作、大学婦人協会員に配布、1200部増刷、各支部に配布
11. 96年度文部省国庫補助事業を以下の通り立案し、9月29日全国セミナーを実施
　(1) テーマ「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
　(2) 実施方法
　①支部及び本部委員による調査研究
　②全国セミナー開催（9月29日 於ホテル・ストラーダ新宿）
　③セミナー決議の執行
　セミナーの決議に基づき要望書を作成し、総理大臣・文部大臣・労働大臣・総理府男女共同参画室長・婦人問題担当大臣・都道府県知事・市区町村長・都道府県及び市区町村議会議長・都道府県及び市区町村教育委員会に提出
　(3) 報告書作成 97年3月完成、配布
　参加者は一般参加者及び会員225名で、発表者全員がパネリストとなるシンポジウム形式を採用この試みは初めてだった。
　○第25回国際会議の報告書作成
12. 96年度国内奨学生及び社会福祉奨学生に対する奨学金の贈呈式開催 96年12月14日 於ホテル・ストラーダ新宿
　国内奨学生 5名
　学部学生 10名
　大学院生 1名
　安井医学奨学生 1名
　ホームズ奨学生 1名
　社会福祉奨学生 5名
13. IFUW加盟国の大学婦人協会会員を対象とした96年度JAUW国外奨学生として、トルコのハンダン・トゥンジェル氏を招聘
14. UWA国際会議が97年1月3日から4日にインドのバンガロールで開催され、JAUWから小谷野愛知支部長はじめ5名、IFUWの代表として青木怜子IFUW第二副会長が出席
　この会議で次のUWA国際会議は、99年に日本で開催されることが正式に決定
15. 96年度IFUW会費2,800スイスフラン（12スイスフラン×100名）を97年1月29日送金
16. 95年IFUW国際会議からの剰余金の繰り入れ及び既支出事業の予算化についての補正予算審議のため97年1月18日新宿京王プラザにおいて臨時評議員会・臨時総会を開催
17. 「新春のつどい」を97年1月18日新宿京王プラザで開催
18. JAUWが推薦し、IFUWの代表としてストックホルムの「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」に出席された東京支部・三宅桂子氏、UWA国際会議に出席された神奈川支部・三上晶子氏と愛知支部・柳堀朗子氏の三氏に若手会員育成金から、旅費の一部として各10万円補助
19. 97年度予算案は2月1日理事会において作成
20. 平成9年度事業計画を3月29日文部省に提出
21. 3月27日96年度㈱大学婦人協会人材リストを文部省及び総理府に提出

その他
1. 国庫補助事業全国セミナー、奨学金関係、見学旅行、講演会、バザー開催およびIFUW関係の交流については、各担当委員長の報告を参照されたい。
2. 本年度逝去会員に対して謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りする。
　杉長寿賀子（同女）神戸
　北村キヌ子（奈女）奈良
　吉田 弘子（東芸）奈良
　山作 令子（新潟）新潟
　片平 浩子（茶）静岡
　宮崎 規子（奈女）奈良
　角前 あい（津）東京
　山本寿枝子（奈女）奈良
　若林 貞（茶）長野
　中西 あい（奈女）奈良
　北村 幸子（日女）金沢
　衛藤 綾子（津）東京
　上田イクエ（奈女）神戸
　保科 達子（奈女）東京
　松村さだ子（奈女）静岡

委員会報告

財務委員会
井口美登利

事業報告（96年度）
1. 委員会活動
　4月2、3日 バザー開催（第39回通常総会会場）
　5月1日 委員会（役割分担をきめる）
　5月17日 ランプの会（富士レイクサイド・カントリークラブ20名）
　6月13日 観劇会（三越劇場『ゆの暖簾』42名）
　7月3日 バス・ツアー（足利学校跡・栗田美術館見学89名）
　9月4日 委員会（9・10・11月行事打ち合わせ）
　9月5日 観劇会（三越劇場『女の一生』44名）
　9月26日 音楽会（塩田美奈子 ブリリアント・イヴニング9名）
　9月28日 バザー開催（50周年祝賀会会場）京王プラザホテル
　9月29日 バザー開催（96年度セミナー会場）ホテル・ストラーダ新宿
　10月31日 ランプの会（那須ゴルフクラブ13名）
　11月6日 委員会（新春のつどい打ち合わせ）
　11月6日 観劇会（新橋演舞場『明治花の写真館』127名）
　11月25日 音楽会（千住真理子 冬色のメロナイト14名）
　12月8日 96年度補正予算案作成
　1月8日 委員会（新春のつどい打ち合わせ）
　1月16日 観劇会（三越劇場『恋文』44名）
　1月18日 新春のつどい（京王プラザホテル124名）
　2月1日 97年度予算案作成
　2月3日 音楽会（熊本マリ 春への変奏曲 14名）
　2月21日 ウルグアイ・チャリティーコンサート協力（サントリーホール130名）
　3月5日 委員会（96年度の反省・97年度の計画）
　3月22日 観劇会（新橋演舞場『華岡青州の妻』150名）
2. 寄付状況（97年2月28日現在）
　寄付金総額
　3、954、635円
　a. 寄付金（敬称略）
　2、006、628円
　○㈱銀座 松屋
　1、242、500円
　○アダチ財団
　164、500円
　○井上ジェムス
　232、800円
　○JTC Ltd.
　23、775円
　○スワロフスキー
　15、000円
　○カプション
　27、870円
　○コネクト・ワークス パソコン教室
　10、000円
　○会員による現金寄付
　290、183円
　b. 活動その他による寄付
　1、948、007円
　○バスツアー
　249、712円
　○観劇会
　531、754円
　○ランプの会
　60、000円
　○音楽会
　37、000円
　○ウルグアイ大使館へ協力
　59、040円
　○JAUW新春のつどい
　56、868円
　○LAC寄贈品による（バザー）
　275、140円
　○R. I. Japan
　1、930円
　○ユニフェム
　15、510円
　○会員寄贈品による（バザー）
　147、180円
　○雑貨販売（バザー）
　513、873円
　本部への寄付
　3、000、000円

委員（96年度）
相田志都江 芥川 妙子
阿南 糸代 有本 玲子
磯村 明子 市川 文子
奥津 成子 金子 京子
川田 ひろ 北村 和子
熊切 富子 駒木三枝子
小宮 礼子 斉藤 智恵
坂井 英子 佐々木洋子
柴崎 富子 鈴木 光子
鈴木美代子 鈴木 行子
住友千代子 副島 節子
高井 敬子 高林 益江
太刀川洋子 鳥谷 和子
中野 照子 中山 律子
羽山 昭子 藤谷 文子
松村美枝子 山村 敬子
井口美登利

事業計画（97年度）
1. バザー開催（総会及び新春のつどい）
2. バスツアーおよび旅行（栃木支部との交流）
3. 観劇会（三越劇場・新橋演舞場）
4. 音楽会（センチュリー・エレガンス・クラシック）
5. ゴルフ愛好会
6. JAUW新春のつどい（98年）
7. 98年度予算案作成

企画委員会
今井 けい

事業報告（96年度）
1. 平成8年度（96年度）文部省国庫補助事業として「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」（以下「参画」と略）をテーマに、全国セミナーを下記の要領で実施した。
　(1) 日時 96年9月29日（日）
　(2) 場所 ホテル・ストラーダ新宿（東京）
　(3) テーマと内容
　①「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
　②「平和教育」「IFUW平和研究奨学金応募への準備として、今年度と来年度の2年間プロジェクトとする）
　③IFUW総会時のプロフェッショナル・セミナーとワークショップの報告
　(4) 96年度セミナーの特徴
　①支部発信型 ②調査研究から、実現への提言と行動 ③研究発表からシンポジウムへ
　(5) 若手会員との交流を促進する手段としての「パソコン通信講座」の開設
　(6) 企画委員は理事・監事全員とし、4月の理事会で早速企画委員会を発足
2. 1.を実現するに当たり
　(1) 4月18日各支部に対し、後記のうちのいかなる分野における「参画」の実態と「参画」への障碍を調査するか、また、それをとり除くための提言は何かなどについてのアンケートを発送
　①政治 ②司法 ③経済
　④教育 ⑤地域 ⑥マスメディア ⑦医療・福祉
　(2) 5月20日「参画」については、11支部（岡山、神戸、茨城、新潟、栃木、大阪、福岡、大分、奈良、静岡、愛知）が、「平和教育」については、広島支部と本部教育委員会が参加することになった。なお、今年のセミナーは例年のように、参加支部がその報告書を単に読むだけでなく、むしろ報告書をもとにしたパネル・ディスカッションに重点をおくことにした。したがって、議論がかみ合うように、事前に種々の工夫を行った。
　講演の講師には下村満子氏（ジャーナリスト）をお願いした。
　(3) 7月27日(土) 会場のホテル・ストラーダ新宿を見学
　(4) 8月20日発表のための完成原稿到着 それらを調査内容に従って掲載し（当日の発言順序となる）「討議資料」を作成 9月上旬発表支部へ送付した。その他の参加者にはセミナー当日に配布した。「平和教育」等の報告は「IFUW国際会議報告資料」として別冊にまとめた。
　(5) 9月28日(土) 4：30 p. m. から京王プラザ・ホテルでパネリストたちとの打ち合わせを行った。
3. 9月29日(土) 全国セミナーには225人の参加者があった。
　(1) 唯一の核被爆地広島と、平和憲法をもつわが国の教科書を通して見る「平和教育」の実態を広島支部と本部教育委員会が調査して報告した。
　(2) 11支部の代表をパネリストとし、井上・今井をコーディネーターとするパネル・ディスカッションは、各支部の調査報告部分を含めて2時間30分にわたって行われた。その後フロアーの参加者との質疑・全体討議が1時間続いた。（詳細はセミナー報告書参照）
　(3) セミナー終了後、引き続き別室で根岸愛子氏と勝又幸子氏によるパソコン通信講座を開催 約70人が参加
4. 10月「96年度全国セミナー報告書」編集委員長の井上氏および書記の有本氏と報告書作成の要領を検討し、11支部に原稿依頼を行った。（報告書は97年3月完成）
　また、理事会では、セミナー「決議文」の作成が決まったので、原案を作成して各支部の同意を得た。
5. 「決議文」から、関係省庁への「要望書」を作成し、12月10日丸山会長、山中・今井副会長が直接まず文部省へ提出した。その他の機関へは、一まず郵送した。支部にもサンプルを送付し、地方自治体における関係機関への提出をお願いした。
6. 評価：シンポジウム形式を採用した今回のセミナーについて、その後参加者から建設的な意見や批判が寄せられた。そのうちの主なものは後記の通りである。
　(ア) 力の入った企画でおもしろかった。実践への力強い提言がなされていた。 (イ) シンポジウムという新しい試みは大変よかった。今までの発表だとそれぞれの関連がなかったが、全体の流れを知ることができた。 (ウ) シンポジウムの内容、各支部の内容が事前に分かっていることはとてもよいことだったが、その分自分たちの研究を例年より一カ月早く仕上げなければならずあわただしく綿密なことができなかった。 (エ) 前日の話し合いは大変有り難かった（発表者）。 (オ) 発表者が時間内におさめる努力も大切だが、予鈴で時間を知らせてはどうか。 (カ) 発表者の話し合いの時間がもう少し欲しい。参加者も意見などを短く分かりやすく述べることができるように訓練も必要と思う。

委員（96年度）
企画委員長 今井 けい
企画委員
丸山 庸子（会長）
山中 照子（実行委員長）
阿南 糸代 有本 玲子
井口美登利 井上 章子
上田 和子 後藤 英子
駒木三枝子 鈴木 照子
鈴木 光子 高田 素子
田中 正子 富樫 絢子
中村久瑠美 根岸 愛子
比留間淑乃 松沢美仁子
佐藤 宏子 杉森 長子
鈴木 伸子
実行委員
奥村 礼子 斉藤 智恵
柴崎 富子 関口 瑞穂
西尾 順子 縄田真紀子
藤枝 史子 藤谷 文子
待場田鶴子 百束 礼子

事業計画（97年度）
1. 97年度セミナー
　企画委員長 山中 照子
　次の二つのテーマで全国セミナーを実施する。
　(ア) 97年度国庫補助事業のテーマ「女性と職業－その障碍と支援について－」
　昨年の全国セミナーでの発表にあったように、女性が職業をもって働き続けることは、「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」の第一歩であると考えられる。しかし、最近の女子学生の就職難にみられるように、その出発点においてすら大きな男女格差が存在する。また、いわゆるM字型パターン（30才から34才までの女性の労働参加率の著しい減少）が示すように、女性の就業継続には、男女の役割分担意識に根差すさまざまな困難があり、子育て後の再就職も難しいのが現状である。
　男女共生社会実現のためには、男女とも多様な働き方が可能な社会環境の整備が必要である。高等教育を受けた女性が職業をもって働き続けるには、どのような障碍があるかを掘り起こし、その問題点の特徴を明らかにすると同時に障碍を克服するために私たちJAUWとして支援できることはないかを考え、具体的な支援活動を展開していく契機としたい。
2. 「平和教育」
　2年間プロジェクトとして昨年からの継続テーマであり、広島支部と本部教育委員会で担当する。

国内奨学委員会
岩村 道子

事業報告（96年度）
5月11日 理事会に96年度国内奨学選考委員7名を提案、承認
6月3日 募集要項を58大学の学長宛、および31支部の支部長宛に発送 応募締切日は10月4日
10月4日 応募締切日までに大阪女子大学からホームズ奨学生の推薦を頂けず、来年度推薦依頼の予定であった福岡女子大学に推薦を依頼
10月9日 一般奨学生大学

院生37名、学部学生34名、安井医学奨学生4名、合計50大学、10支部(23大学)から75名の応募があった。
10月11日　選考委員に応募書類のコピーを送付
10月31日　選考委員会開催
選考委員7名の評価により奨学生候補者(一般奨学生　大学院生10名(うち1名分は東京支部からの奨学金による)、学部学生5名、安井医学奨学生1名、ホームズ奨学生1名)を選出
11月2日　理事会において奨学生の承認
11月11日　選考結果を応募学生、大学学長、支部長に通知
12月14日　ホテル・ストラーダ新宿において奨学金授与式　奨学生13名　大学関係者3名　会員42名出席
12月20日　授与式欠席者4名に奨学金と賞状を送付
2月1日　会報184号(選考経過および奨学生の小論文掲載)を奨学生および応募大学の学長に送付

国外奨学委員会　井上章子

事業報告(96年度)
1. JAUW国際奨学金関係
(1) 4月30日締切　アメリカ4名、デンマーク2名、トルコ2名、ブルガリア1名、フィンランド1名、ハンガリー1名、ルーマニア1名、インド1名、バングラデシュ1名、フィリピン1名、計14名の応募あり。
(2) 6月15日選考委員会開催　選考の結果、96～97年の奨学生1名と補欠1名を選出
ハンダン・トゥンジェル氏(トルコ26歳)を奨学生に、カイザ・B・バウエル氏(フィンランド52歳)を補欠に決定
(3) 6月にハンダン氏の契約書を受領　氏の在籍するイスタンブール大学と広島大学との調整の結果、96年9月18日～97年2月18日まで滞日　その間の5カ月に対して80万円授与　ハンダン氏は広島大学医学部第一病理学教室　田原教授の下で「新生物の診断と分類に利用されている分子生物学」について研究
(4) 10月に97年度募集要項と申込用紙をIFUW加盟国に発送
(5) ハンダン・トゥンジェル氏は、広島大学医学部第一病理学教室での研究を終了　2月18日成田よりトルコに帰国
(6) 2月16日東京支部との共催で、私学会館アルカディア市ヶ谷にて歓送会と研修成果の報告会開催
報告は専門研究の部と日本文化に触れてコメントを自作のスライドを用いて発表　報告後、東京支部長から記念品贈呈
2. その他、IFUW及び各国の奨学金募集を紹介し、多数の国内外からの問い合わせに応じた。
委員(96年度)　阿部　幸子　有沢　公子　小沼　禮子　菊地　薫　島　美喜子　西尾　順子　根岸　愛子　萩原　芳子　平野　和子　広田　貞子　宮島　茂子　八木　江里　井上　章子
なお、選考委員会には国外奨学委員の他に、会長・副会長・東京支部長が加わる。
事業計画(97年度)　前年度に引き続き、IFUW加盟国会員を対象として、国外から1名の研究者を招き奨学金を授与する。
奨学金の金額を97年度は60万円～80万円とすることを理事会において決定、他の要項は前年度と同様

国際第一委員会　松澤美仁子

IFUWより次の文書を受領し、重要な情報を適宜翻訳し、各支部に送付した。また必要事項については、理事会に諮りIFUW本部に連絡した。
1. 「96－98 IFUW－JAUW平和研究奨学金」JAUWからは教育委員会と広島支部が合同で応募
2. 「ビーナ・ロイ開発パートナー基金プロジェクト」JAUWは、20万円を拠出して協力　プロジェクト担当コーディネーターに根岸愛子監事(注：途上国の開発プロジェクトを援助する目的で、その国のIFUW会費を、先進国会員がその代わりに支払う制度)
3. 「第26回IFUW国際会議(グラーツ、98年8月19日～26日)セミナー参加招請」房野桂氏　論文提出　参加テーマは〝権力と意志決定における女性：アクセスと参加の方法〟
4. 「第79回・第80回IFUW評議会議事録及び第25回IFUW国際会議議事録」
5. 「1998－2001年のIFUW新研究行動計画に関しての質問状」第25回IFUW国際会議決議21に基づきIFUWの活動を包括的に見直すため。
6. 「国連人間居住会議－ハビタットII、96年6月」
7. IFUWニュース
8. 国連諸機関(UNESCO、UNICEF、婦人の地位委員会など)への代表からの報告
9. IFUW Information Paper：北京会議のフォローアップ
10. 「ヤングメンバー・ネットワーク」横浜会議若手リーダー研修会参加者を核として、若手会員のネットワークを拡げる目的で〝YMニュースレター〟を発行　日本のコーディネーターは、勝又幸子氏(静岡支部)
11. オーストラリア大学婦人協会などへの招待状他
付記：
(1) 95－98、IFUW第二副会長に青木怜子氏、会員委員会委員に房野桂氏
(2) 大学婦人協会50周年にあたり、IFUW会長および本部スタッフより祝辞とカードが寄せられ、お礼状とともに〝大学婦人協会史〟を送った。
(3) 若手会員三宅桂子氏(神奈川支部)がIFUW代表としてストックホルムで開催された国連会議「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」に出席

IFUW関係(アジア大学婦人連盟)
UWA総会が97年1月、インドのバンガロールで開催されJAUWから小谷野錦子氏(愛知)、後藤安子氏(神戸)、田中祥子氏(東京)、若手会員として柳堀朗子氏(愛知)と三上晶子氏

第40回通常総会　丸山廣子会長挨拶

(神奈川)、IFUW第二副会長青木怜子氏(東京)が参加
テーマは〝アジアの女性－平和と環境開発〟JAUWから江尻美穂子氏の論文を発表(田中氏が代読)
主な日程は次の通り：
1月2日　インド大学婦人連盟(IFUWA)主催夕食会
1月3日　開会式－IFUW第二副会長青木怜子氏の基調講演、知事挨拶など
セッションI「環境と開発」
セッションII「個人の自覚と責任」
1月4日　セッションI「環境をめぐる法と政策」
UWA役員会(会費支払の確認、前ホスト国香港から横浜での評議会ミニッツがきていないため会計報告や議事録の審議は行われなかったとのこと)
出席国：インド、日本、韓国、ネパール、スリランカ
セッションII「ワークショップ・平和」
セッションIII「優れた女性に贈る賞」授賞式－ナデイサ・カリシュナ博士
晩餐会
1月5、6日　オプショナルツアー
次のUWA評議会はIFUWの総会時に開催、99年に日本がUWA総会を開催

国際第二委員会　中村久瑠美

事業報告(96年度)
1. 「国際婦人年日本大会の決議を実現するための連絡会」関係
(1) 全体会の主要な活動
5月(5／20)96年度総会を開催　95年度活動報告、95年度会計報告を承認
分野別各小委員会より活動報告と活動計画を聞いた後、今年度の活動として、2001年に向けて、「男女共同参画2000年プラン」について、内容の概略が総理府より報告され、質疑応答
(2) 分野別小委員会の活動
○政策決定小委員会
「男女共同参画2000年プラン」をテーマに、平成8年10月の第41回総選挙の結果をふまえて、女性の政治・社会参画をめぐって調査・研究
○家族・福祉小委員会
介護保険・従軍慰安婦問題、及び夫婦別姓問題の3つを中心に論議を重ね、要望書を作成し、政府関係機関に提出
○教育・マスメディア小委員会
テレビ、特に民放を中心に、女性の人権が侵害されていないか、の観点から、調査、研究
○労働小委員会
介護休業の法制化に関して高齢化社会における介護のあり方という見地から取り組む。
育児休業中の所得保障について検討　女子学生の就職状況の実態調査
アメリカのEEOC副会長を招き、セクハラ問題についても検討
○平和・開発・環境小委員会
2000年プランに向けて検討しつつ、新潟の重油問題、劣化ウラン、環境アセスメント法案に対する態度表明等を行った。
○ユニフェム委員会
ユニフェム(基金)拠出のためのユニフェムグッズの販売、東京都企画の催における広報活動、及び国立婦人教育会館における広報活動等
2. 国際第二委員会を3回開催　各委員担当の小委員会の内容について報告・協議、全体会での問題点を検討し、合わせて各委員の相互親睦を計った。
委員(96年度)　遠藤　郁子　片岡貴美子　関口　悦子　田中トモ子　野口　敏子　野崎　方子　福田　練子　望月　浪江　吉本　栄子　手島有哉子　中村久瑠美
事業計画(97年度)
国際婦人連絡会での全体会及び各小委員会における今回の議事録はインドが作成、次回より会費(通信費)は総会で支払うこととする。出席者総数＝日本6名、韓国・ネパール・スリランカ各1名を含み、約100名

人事交流
(1) パキスタン大学婦人協会書記エバ・ハサン博士来日、8月1日国際第一委員数名と歓談
(2) 英国大卒女性連盟(BFWG)スコットランド各支部の企画された友好の週に、8月末JAUWから19名参加
(3) 英国大卒女性連盟パメラ・ロスさんが、東大アイコムプログラムに参加、日本の文化研究のため10月末より1年間滞在予定

教育委員会　田中正子

事業報告(96年度)
5月25日　第1回委員会：今年度の活動方針としてIFUWの特別平和プログラムに参加し、日本の教科書における戦争と平和の扱われ方について調査を行うことに決定、調査の規模などについて意見交換を行った。調査期間を2年間とし、現行教科書および来年度使用の教科書の調査、外国の教科書との比較、検定制度の現状調査などを行うことを申し合わせた。
6月8日　第2回委員会：教科書プロジェクトについて。小・中・高の社会科(歴史分野および公民分野)、および国語教科書を採択率の順に16冊購入、各委員の分担を決定
7月6日　第3回委員会：教科書プロジェクトについて　各委員が調査の進行状況の報告を行い、問題点について検討
9月21日　第4回委員会：全国セミナーにおける中間報告についての打ち合わせ
9月29日　全国セミナーにおいて、教科書調査の中間報告「日本の教科書では戦争と平和はどのように扱われているか－教科書から見た平和教育－」を発表(田中氏が代読)
10月16日　IFUWへ平和研究奨学金応募調査計画書「日本における平和教育」を提出
10月29日　第5回委員会：教科書プロジェクトについて　高校「現代社会」教科書の調査を追加、これまで行ってきた現行教科書の調査のまとめ方について検討
12月21日　第6回委員会：教科書プロジェクトについて　各委員の調査結果の報告および問題点の検討
1月25日　第7回委員会：教科書プロジェクトについて
2月22日　第8回委員会：教科書プロジェクトについて
IFUW－JAUW平和研究奨学金：広島支部との合同調査「日本における平和教育」は採択され、調査結果は98年のIFUW総会で報告することになった。(奨学金3800ドル)
発　表
1. 「日本の教科書では戦争と平和はどのように扱われているか－教科書から見た平和教育」：96年度全国セミナー報告書
2. 「調査『日本における平和教育』について」：JAUW会報第184号(97年2月)
3. 「女性の理工系分野への進学とその背景－大学婦人協会調査から－」：日本女性科学研究者の環境改善に関する懇談会編「女性研究者の可能性を探る」(ドメス出版)分担
委員(96年度)　緒方　璋　杉森長子　平田　宏子　福田　文子　堀　美知子　三上　晶子　八木　博子　田中　正子
事業計画(97年度)
96年度に引き続き、教科書調査を行う予定
1. 新年度より新しく使用される中学教科書の調査
2. 外国の教科書との比較
3. 報告書の作成

婦人の地位委員会　高田素子

事業報告(96年度)
1. 「これからの高等教育の在り方－男女共生社会の醸成の基本条件は何?」をテーマとし、94年度は日本の会員を対象に、95年度はIFUW国際大会参加者(ただし日本は除く)を対象に、それぞれアンケートを実施した。(94年度分については全国セミナー報告書を参照のこと)本年度は昨年度に引き続き、国際大会参加者を対象とするアンケート調査に関する作業を行った。
前年度中に行った数量的なまとめを踏まえ、さらに分析を深めるとともに、記述式回答に対する内容分析を行った。有効回答115人の出身国26カ国をアジア、アフリカ、アメリカ、太平洋、中近東、ヨーロッパの6地域に分け、それぞれ担当者を決め、順次発表形式で委員会を進めていった。
8月に入り、アンケートの検討を一旦小休止し、全国セミナーでの中間報告の発表に向けて、発表者(鈴木委員)、作表担当者(飯田委員)を中心として、原稿のまとめの作業を行った。
セミナー終了後は、教育制度との関連も視野に入れた国際比較や、女性の地位向上に向けた提言をさらに引き出すための議論をさらに深める一方、最終報告書にまとめるための作業を進めていった。アンケートの結果は、アンケートにご協力いただいたIFUW加盟国へ発送の予定であるため、限られた時間内で英訳、印刷、製本の作業を進める結果となり、それぞれの分担者の個別の進行状況をみながら、委員会を開催していった。
○アンケート関係の委員会活動は次の通り。
4月30日・5月10日・5月31日・6月7日・6月28日
6地域のアンケート結果についての報告と検討(全委員)
7月10日　アンケートのデータの整理、まとめの方法論の検討(全委員)
8月2日　全国セミナー用中間報告要旨(案)の検討(全委員)
8月20日　同発表原稿まとめ、提出(鈴木委員)
9月5日　報告書の書式についての検討(全委員)
9月21日　報告書用分析表の作成(飯田、鈴木、高田委員)

一九九六年度 支部報告

会員委員会　富樫 絢子

事業報告（96年度）
1. 会員の現状把握
(1) 会員数：97年3月5日現在　1976名
(2) 会員の動静（入会、住所等の変更、逝去、退会等）を確認
会員カード、名簿及びパソコンデータを修正
「異動通知書（複数用）」「海外異動会員の手続き（案内書）」を各支部に配付、協力を依頼
(3) 97年3月1日現在の在籍者リストを各支部長に送付、訂正を依頼
2. 会費納入の推進
(1) 11月30日現在の会費未納者一覧表を各支部長に送付し、会費の年度内納入に協力を要請
(2) 会費納入依頼の記事を会計と連名で会報184号に掲載
3. 会員増加に関する活動
(1) 第39回通常総会にて、各支部長に入会案内リーフレットと入会申込書を配布し、新入会員の勧誘を依頼
(2) 新入会員の名簿を会報182号、183号、184号に掲載
(3) 96年9月、新リーフレット（IFUW、国際会議関連記事を掲載）を発行し、各支部及び50周年祝賀会、セミナー参加者に配布、入会勧誘を依頼
(4) 97年3月、理事及び監事にリーフレットを配布し、大学関係者には特に大学新卒者への入会勧誘を依頼
(5) 支部活動の再興に協力：仙台、函館、愛媛各支部等
4. 賛助会員の扱いに関する活動
(1) 賛助会員証の発行
(2) 賛助会員募集の案内書、申込書を各支部に配付、入会勧誘を依頼

事業計画（97年度）
1. 会員の現状把握
(1) 会員カード、名簿及びパソコン・データの整備
(2) 会費納入の推進
2. 会員名簿の発行
97年10月　600部発行予定
1部　1000円
3. 会員の増加に関する活動（各機会にリーフレットを配布し、入会勧誘に努める）
4. 支部との連絡を密にする。

委員（96年度）
秋月　薫　磯村　明子
尾形佐知子　菊地　靖子
庄司　ヨシ　出口佐登子
中山　正子　橋本津栄子
百束　礼子　山下　晴子
富樫　絢子

リーフレット作成特別委員
井口美登利　尾上　夏子
熊切　富子　駒木三枝子
斎藤　智恵　野崎　方子
房野　桂　比留間淑乃
三富　節子　富樫　絢子

小樽支部　吉田喜美子

会員数　13名
支部会費　4000円

事業報告（96年度）
3月23日　支部総会
4月26日　小樽市婦人団体連絡協議会
5月18日　支部リクリエーション
7月13日　支部読書会　大江健三郎著「あいまいな日本の私」
7月17日　市青少年問題審議会　支部長出席
8月7日　市図書館審議会支部長出席
8月26日　支部会　早見元会員歓迎会
9月13日　男女共同参画推進地域会議　支部長出席
10月8日　小樽市婦人団体連絡協議会40周年祝賀会（実行委員長　吉田支部長）
10月14日　小樽市婦人大会「いすかのはし（鵡の嘴）に世相を見る」大川昇氏
北海道女性サミット21　「女性の自立と介護」門野晴子氏　吉田支部長出席
10月30日　樽婦連40周年打ち上げパーティー　実行委員会はこの他17回開催
12月10日　タイ国ダルニー奨学金に1万円贈呈
1月14日　支部新年会

事業計画（97年度）
3月16日支部総会及び旧年度の奨学金贈呈式
その他は前年に倣うものとする。

札幌支部　佐々木 幸

会員数　35名
支部会費　2500円

事業報告（96年度）
4月3日　本部総会参加
4月21日　支部総会　95年度事業報告・会計報告、本部総会報告
96年度新役員承認・事業計画と予算案承認
5月13日　北海道女性の自立プラン推進協議会役員会（前支部長）
5月～6月　日本語ボランティア　初級講座（4回）　25名参加
シンガポールの青少年に学習指導（4回）
6月1日　支部役員会
6月11日　支部例会　札幌地方裁判所裁判傍聴　傍聴の感想と話し合い
7月6日　日本語ボランティア〝多文化ってなーに〟（海外11カ国15名を含め77名参加）
7月9日～12日　北海道主催　平成8年度男女共同参画アドバイザー養成講座（支部長、副支部長）
7月26日　支部役員会、例会〝花火鑑賞と懇談〟
8月　日本語ボランティア会、役員会で協議
「日本語授業ワークショップ」研修講座（4回）30名参加
姉妹都市ミュンヘン札幌訪問団へ指導（4回20時間）
9月13日　総理府主催　北海道、東北、関東甲信越地区　男女共同参画推進地域会議（支部長他6名）
9月28、29日　大学婦人協会50周年記念祝賀会、全国セミナー（企画、報道展示内容　①アンケート調査中間報告発表「〝教育〟と女性のライフスタイル－秋田では？」　②大学婦人協会の活動紹介
11月30日　第3回支部研修会　15名
「ディシジョン・メイキングへの女性の参画：大学システムの中における日米比較などを中心に－須田幸子さんを囲んで－」
1月20日　CCWA国際婦神里親会費寄付金を送金
1月24日　支部新年会　17名
3月15日　支部アンケート調査報告書「高等教育と女性－女性の生き方の中で高等教育はどう活かされているか－秋田県におけるアンケート調査結果」発行
3月20日　秋田支部報第5号発行
秋田県婦人団体連絡協議会・秋田市婦人団体連絡協議会・秋田県女性団体代表者会議・秋田県国際交流団体連絡会等の事業に参加協力
秋田県婦人会館監事及び評議員・大森山少年の家運営協議会委員を会員から選出

事業計画（97年度）
1. 支部総会
2. 入学祝金の授与
3. 研修会
4. 秋田支部創立50周年関係事業（詳細は後日決定）
5. 親睦会（新年会）
6. 秋田支部報の発行
7. 国際交流（CCWAの継続、他の国際交流団体への協力）
8. 他の団体への協力

仙台支部　藤崎千代子

会員数　26名
支部会費　3000円

事業報告（96年度）
5月18、19日　本部役員との懇談会
6月4日　平成8年度宮城県各種女性団体連絡協議会総会出席
9月18日　支部臨時総会　支部長改選
9月28、29日　大学婦人協会50周年記念祝賀会・全国セミナー出席
10月11日　役員会　支部規約案検討
10月18日　役員会　支部規約案、役員、委員等検討
10月28日　県主催「みやぎジョイント・フェスティバル96」参加
11月8日　役員会　総会準備
11月14日　支部総会　支部規約承認、役員選出、96年度事業計画・予算承認
11月29日　役員会　研修会と新年会について打ち合わせなど
12月6日　研修会　「カンディンスキー&ミュンター　1901～1911展」見学
1月18日　JAUW臨時総会・評議会出席
1月21日　宮城県各種女性団体連絡協議会の役員会出席
1月23日　役員会　JAUW臨時総会報告、県から案内の事業へ参加についてなど
2月3日　「首都機能移転フォーラム」特別講演会参加
2月7日　支部新年会
2月7日　役員会　3月研修会打ち合わせ・総会、97年度事業計画案についてなど
2月13日　「地方分権推進セミナーinみやぎ」参加
2月24日　第31回宮城県婦人大会参加
3月7日　研修会「バリアー・フリー住宅」見学

事業計画（97年度）
支部総会において協議、決定の予定

福島支部　関口 富左

会員数　16名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月6日　「安藤広重東海道五十三次オリジナル・リトグラフ展」鑑賞
4月22日　教養講座聴講「地球再発見による人間性回復へ」白川義員氏
5月24日　前進座公演「勧進帳」鑑賞
6月15日　96年度支部総会
9月30日　「郡山開成学園所蔵美術展」鑑賞
10月18日　野村万作師他「狂言　靱猿・茸」鑑賞
10月25日　演会「学問の行方－人間生活を基として－」聴講
講師　梅原　猛　国際日本文化研究センター顧問
西澤潤一　東北大学総長
12月10日　「プラハ少年少女合唱団クリスマス・コンサート」鑑賞

事業計画（97年度）
40回大学婦人協会通常総会出席
1. 文化活動（郡山女子大学主催の教養講座・芸術鑑賞講座に参加、及び自主講演会開催）
2. 留学生との交流会開催
3. 会員増加活動
4. 支部総会開催
5. その他必要に応じ会を開催

新潟支部　関 妙子

会員数　99名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3、4日　JAUW第39回通常総会に関支部長ほか3名出席
4月27日　支部総会　出席者29名・委任状53名・口頭委任2名
95年度事業報告・会計報告、96年度事業計画・予算審議・その他
5月25日　5月例会　出席者20名
「政策決定の現場を語る」大河内芳子氏（前新潟市国際文化部長元同女性政策課長）
今年度のセミナー（ディシジョン・メイキングへの女性の参画）の取り組みについて
6月22日　6月例会　出席者18名
公開討論会「政策決定への女性の参画」
7月23日　7月例会　出席者18名
セミナーのアンケート集計結果の発表と、それに基づく討議
映画「風とともに去りぬ」の一部鑑賞と、その英語の勉強
8月28、29日　新潟市消費者協会主催の不用品交換会に参加（財務部）
9月14日　9月例会　出席者24名

函館支部　大沼 行子

会員数　9名
支部会費　3000円

事業報告（96年度）
入会7名　既会員2名　計9名
1月25日　再発足の会　出席8名
10月8日　ミニニュース発行　あゆみ第6号発刊
その他は4月の支部総会、役員会で協議

事業計画（97年度）
各委員会担当による例会、各講座、日本語ボランティア活動の継続
1. 企画委員会　英語輪読会、6月例会担当
2. 報道委員会　ミニニュース「JAUW SAPPORO」発行　7月例会担当
3. 国際委員会　日本語ボランティア活動担当　10月例会担当
4. 婦人の地位委員会　6月例会担当　他団体との会議出席
5. 財務委員会　古典輪読会、かな書道講座　7月例会担当

秋田支部　古谷 道子

会員数　43名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会参加　2名
5月19日　平成8年度秋田支部総会16名
5月31日　施設から進学した女子高校生1名へ入学祝金贈呈
7月20日　第1回支部研修会　25名
「はつらつ女性議員－小田美恵子さんを囲んで」
8月15日　県内大卒女性対象のアンケート調査を発送
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会参加　2名
9月29日　大学婦人協会全国セミナー参加　2名
10月12日　第2回支部研修会　13名
「ディシジョン・メイキング？－全国セミナー報告と体験発表」
11月11、12日　ネットワーキング：第30回婦人生活祭参加

事業計画（97年度）
1. 社会福祉奨学生応募者を選考し、5名に奨学金を授与した。
6月27日　学習会「ドイツと日本の選挙制度」（講師　石村　修氏）
9月　民法改正についての要望書の提出（法務大臣宛）
2. 七婦人団体議会活動連絡委員会主催の婦人参政権行使51周年記念行事（4月10日）へ参加
3. 七婦人団体議会活動連絡委員会主催の婦人参政権行使51周年記念行事（4月10日）へ参加
(1) 社会福祉奨学生5名に奨学金を授与。
2. 障害をもつ学生とその生活、教育環境について調査を行う予定

社会福祉委員会　上田 和子

事業報告（96年度）
4月8日　4月22日
5月13日　6月10日
7月8日　9月2日
9月17日　10月14日
12月9日　1月13日
2月5日　3月10日
○本年度行われた主な行事
4月13日「戦後政治と女性の動向Ⅰ－参政権行使50周年記念集会Ⅰ－」（講師　佐竹　寛氏）（4月10日発行の記念切手の販売）
4月19日　50周年記念集会決議・住専問題特別決議・民法改正特別決議の送付
6月27日　学習会「ドイツと日本の選挙制度」（講師　石村　修氏）
9月　民法改正についての要望書の提出（法務大臣宛）

事業計画（97年度）
1. 女性の地位向上に有効な調査・研究を引き続き積極的に実施していくために、基礎データや情報を収集する。
2. 「これからの高等教育の在り方－男女共生社会の醸成の基本条件は何？」の研究成果を踏まえて、さらに問題点を掘り下げつつ、女性問題に関する研究を深めていくと共に、アンケートに協力いただいたIFUW国際大会参加者とのネットワークの広がりを期待する。
3. 七婦人団体議会活動連絡委員会主催の婦人参政権行使51周年記念行事（4月10日）へ参加

委員（96年度）
飯田　寛子　海老原典子
白井　典子　杉森　長子
鈴木　伸子　土屋　和子
中村　道子　谷中　寿子
若井　綾子　高田　素子

報道委員会　後藤 英子

事業報告（96年度）
会報『JAUW』発行（4回）
本年度の当協会の事業と活動の報告などを編集、後記の通り発送
182号（10頁）96年6月20日発行　各支部宛送付
183号（4頁）96年11月10日発行　各会員宛送付
184号（6頁）97年2月1～189号）発行の予定　日発行　各支部宛送付
185号（2頁）97年3月1日発行　各会員宛送付

委員（96年度）
尾上　夏子　牛頭　栄子
坂上栄美子　関口　瑞穂
藤谷　文子　横橋　貴子
鷲崎　千春　後藤　英子

会計　佐藤 恵湖

会計監査　野又紀美子
例会期日　1月より隔月第4土曜日　6回
支部長より本会の趣旨活動状況を説明し、自己紹介後今後の運営方法を討議し、会員の専門分野の卓話や時の話題を取り入れたり、広く知識を求め、このふれあいを大切に友愛の心を持って、まろやかな人格形成につとめ、会を通じて社会に貢献することを誓いあった。
3月25日　新入会員の勧誘
5月　支部総会
7月　本部提示の今年度テーマについて研修会
9月　芸術鑑賞又は近郊自然観光
11月　会員専門分野の話
1月　新年会
3月　反省並びに来年度計画の具体的方法

茨城支部

吉田　英子

会員数　72名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
◎支部主催事業
4月2、3日　JAUW第39回通常総会及び関連行事
4月4日　見学会：県立自然博物館、つむぎ会館他
4月10日　「茨城の歴史講座」開講（毎月1回　計12回開催）講師　静江先生
4月27日　支部総会：95年度事業・会計報告、96年度事業計画・予算審議、副支部長補充
5月25日　支部定例会　全国セミナー準備会（水戸、土浦　2グループで実施計画の作成）
7月5日　全国セミナー打ち合わせ会議
7月27日　支部定例会：全国セミナー中間報告並びに今後の進め方
9月8日　支部定例会：シンポジウム「よりよき明日をめざして」他団体も参加
9月28、29日　大学婦人協会50周年記念祝賀会および全国セミナー
11月16日　支部定例会：いばらぎハーモニープランについての学習
12月17日　知事への提言「ディジション・メイキングへの女性の参画を促進するために」
1月25日　支部新年会、静間敏子会員「いばらぎ賞」授賞祝賀会
3月22日　支部定例会
その他　役員会：7回開催、「支部だより」隔月発行
◎他団体と共催
4月5日　茨城県女性団体連盟総会
6月10日　茨城県女性団体連盟リーダー研修会
7月7日　第4回茨城県婦人会館福祉バザー
7月8日　茨城県消費者大会（茨城県消費者団体連絡会構成団体として）
7月11日　国際協力セミナー：講演「国際協力・今私たちにできること」講師　星野　昌子氏
8月29日　明るい選挙推進婦人のつどい
9月27日　国際協力セミナー　講演とシンポジウム：21世紀はアジアの女性から
2月14日　茨城県女性団体連盟のつどい
その他　女性問題ハンドブック作成実行委員、ウィメンズミッション研修実行委員として活躍
◎参加事業
4月23日　第48回「婦人週間　茨城会議」
10月31日　「魚と健康のつどい」
11月13～19日　男女共同参画推進事業：街頭キャンペーン及びフォーラムへの参加
事業計画（97年度）
1. 支部定例会の開催：奇数月の第4土曜日
2. 支部だよりの発行：年6回
3. 本部セミナーに参加
4. 「源氏物語講座」及び「茨城の歴史講座」の開催：毎月1回
5. 茨城県女性団体連盟の構成団体としてその事業に参加
6. 国際協力セミナーを開催
7. 第5回茨城県婦人会館福祉バザーに参加

栃木支部

増淵　民子

会員数　42名
支部会費　1000円

事業報告（96年度）
◎本部事業への参加
4月3日　総会へ8名参加
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に4名参加
9月29日　全国セミナーに9名参加
1月18日　臨時総会・新年会に2名参加
◎支部事業
5月25日　総会
5月31日　役員会（以後、7／9、9／17、11／9、1／27、3／8）
6月2日　古典勉強会（6／10）
6月10日　企画委員会（6／21、6／27、7／9）
6月20日　セミナー実行委員会（6／25、7／1、7／12、7／22、8／9、8／21、8／30）
7月10日　支部だより発行
8月9日　女性センター見学
9月7日　奨学委員会
9月7日　奨学生選考会（3／16）
10月19日　ダンスパーティ
11月9日　奨学金贈呈式（6名に贈呈）
12月7日　関定子新春オペラ・歌謡コンサート（1月19日）に参加・協力
◎田中正子会員は神奈川県公害審議会委員・同生涯学習審議会委員を継続、房野桂会員は県立かながわ女性センター運営協議会委員・県女性問題協議会委員・横浜弁護士会人権賞選考委員等に在任中である。
事業計画（97年度）
4月1、2日　通常総会に参加
4月19日　支部総会とバンガロール・アジア大学婦人連盟報告　その2
5月中旬　全国セミナーのためのミーティング
5月22日　見学　(財)難民事業本部・大和定住促進センター
5月24日　かながわ女性会議創立15周年記念講演会に参加
6月21日　セミナー研究に関する講演会
7月19日　セミナーに関する作業や検討会、〝女児〟の問題その他も随時ととりあげる。
7月下旬～　随時セミナーのためのミーティング
9月上旬～　原稿確定と印刷
9月20日　例会
9月下旬　全国セミナー参加
10月18日　リクリエーション又は見学（公的施設の場合は週日に）
11月15日　IFUWの課題「思春期の少女」について、講演と学習
12月13日　やさしいクリスマス菓子教室と親睦会
1月　JAUW新春の集いに参加
2月21日　国内奨学生との交流会

長野支部

徳田　節子

会員数　23名
支部会費　1000円

事業報告（96年度）
4月2～3日　JAUW第39回通常総会　支部長出席
4月13日　役員会
5月25日　長野支部総会
95年度事業報告・会計報告、96年度事業計画
7月20日　例会
講演　「高齢者と子供に関する一考察」
掛塚芳子長野清泉女学院短大教授
9月28日　大学婦人協会50周年祝賀会
9月29日　全国セミナー「ディジション・メイキングへの女性の参画」に支部長出席
12月7日　例会　前記セミナーの報告（徳田）、渡辺、三田会員による96日本女性会議（宇都宮）の報告
2月22日　新年会　講演「ケンブリッジ大学とエール大学での短期研修」
谷本泰子信州大学教育学部教授
事業計画（97年度）
未定

東京支部

比留間淑乃

会員数　599名
支部会費　3000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会に支部長ほか有志出席
4月20日　東京支部総会
支部長及び役員の交代を承認
記念講演『心の時代、身体の時代』
講師　養老孟司氏　解剖学者
5月15日　日本語で外国の方の話を聞く会「ブラジルと日本の教育の違い」
講師　豊住マルシア氏
6月3日　国会見学と女性国会議員との懇談会
7月1日　支部会報『ともしび』20号発行　この号より各支部へも発送
9月11日　ビデオ上映会「婦選は鍵なり」
9月28日　大学婦人協会50周年祝賀会に参加協力
9月29日　全国セミナー多数参加協力
11月13日　講演会「婚姻制度に関する民法改正について」
講師　中村久瑠美会員
12月10日　人材名簿作成発送について協力
12月14日　国内奨学金授与式（国内奨学委員会、社会福祉委員会と共催）
大学院生10名のうち1名分10万円寄付
1月18日　JAUW臨時総会に多数参加協力
2月12日　講演会「ネパールの女性と子供」
講師　川中　信氏
2月16日　国外奨学生を囲む会（国外奨学委員会と共催）記念品贈呈
3月1日　支部会報『ともしび』21号発行
委員会：毎月第2水曜日
サークル　俳句会、読書会、英語講座、古典講座、漫歩会、源氏物語を読む会、楽しい俳句会
社会奉仕　寄付：留学生相談室　使用済み切手の寄付：中野盲人自立センター
事業計画（97年度）
4月2日　JAUW第40回通常総会に参加
4月19日　東京支部総会
記念講演
講師　ベアテ・シロタ・ゴードン氏
5月13日　東京湾近辺見学（視察船新東京丸にて）
7月1日・3月1日『ともしび』22、23号発行
7月9日　講演会
講師　福島瑞穂氏
＊例会、サークル活動は96年度に同じ。またその他の事業詳細は支部総会後の委員会に於いて企画決定する。

神奈川支部

松比良節子

会員数　47名
支部会費　1000円

事業報告（96年度）
◎支部活動　本部関連行事
4月3、4日　JAUW第39回通常総会3名出席
4月20日　神奈川支部総会
①95年度事業報告・会計報告、96年度事業についての話し合いと予算計画
全国セミナーテーマについて田中支部長より説明
②役員改選後、支部長・松比良節子、副支部長・岩元もと子、書記・新井場貞子、会計・西村寿美子（再任）、川田美佐枝、監査・菊池孝子、かながわ女性会議担当・中嶋武子選出
5月18日　例会
①北京会議に出席した新井場貞子・房野桂会員による「第4回世界女性会議行動綱領」の学習会
②房野桂会員の、外務省主催「ヨルダン・イスラエル訪問の旅」の報告
③三宅桂子会員より、8月IFUW代表として出席予定の「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」にむけて、身近な情報を収集しようという提案　エクパット・キャンペーン署名活動にも協力
④支部例会のあり方について
6月25日　例会
①5月例会提案の情報資料を持ち寄り、マンション郵便受けのピンク・チラシ、コンビニで売られている女児物ポルノ誌等々について報告
②ゲスト青木のぞみさん（関東学院中学高校教諭）によるスウェーデン教育事情および当地の「子どもの権利条約」の教え方・テキストについてお話
③房野会員より「優生保護法改正」についての緊急アピール
6月下旬　神奈川支部五十年史をまとめるため、古参の会員各姉に電話取材や、資料送付をお願いした結果、原稿を本部へ送る。
7月19日　例会
①「ディジション・メイキングへの女性の参画」をテーマに房野会員が全国地方議会や自治体における女性議員比率・管理職比率などを中心に講演
②県の新しい「女性プラン」案のパンフレット配布
③会員手作り品を中心にしたバザー
9月21日　例会
①「英国大卒女性連盟訪問の旅」の報告　JAUWから19名参加のスコットランド訪問について房野会員のお話
②県・女性政策室作成の「新しい女性プラン」案、普及用パンフレットの読み合わせ　意見発表
③11月見学会準備、中間報告
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に6名参加
9月29日　全国セミナーに9名参加
平和学研究会の学習会
外務省主催「ヨルダン・イスラエル訪問の旅」の報告
③三宅桂子会員より、8月IFUW代表として出席予定の「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」にむけて、身近な情報を収集しようという提案　エクパット・キャンペーン署名活動にも協力
④支部例会のあり方について
6月25日　例会
①5月例会提案の情報資料を持ち寄り、マンション郵便受けのピンク・チラシ、コンビニで売られている女児物ポルノ誌等々について報告
②ゲスト青木のぞみさん（関東学院中学高校教諭）によるスウェーデン教育事情および当地の「子どもの権利条約」の教え方・テキストについてお話
③房野会員より「優生保護法改正」についての緊急アピール
6月下旬　神奈川支部五十年史をまとめるため、古参の会員各姉に電話取材や、資料送付をお願いした結果、原稿を本部へ送る。
7月19日　例会
①「ディジション・メイキングへの女性の参画」をテーマに房野会員が全国地方議会や自治体における女性議員比率・管理職比率などを中心に講演
②県の新しい「女性プラン」案のパンフレット配布
③会員手作り品を中心にしたバザー
9月21日　例会
①「英国大卒女性連盟訪問の旅」の報告　JAUWから19名参加のスコットランド訪問について房野会員のお話
②県・女性政策室作成の「新しい女性プラン」案、普及用パンフレットの読み合わせ　意見発表
③11月見学会準備、中間報告
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に6名参加
9月29日　全国セミナーに9名参加
平和学研究会の学習会
外務省主催「ヨルダン・イスラエル訪問の旅」の報告
③三宅桂子会員より、8月IFUW代表として出席予定の「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」にむけて、身近な情報を収集しようという提案　エクパット・キャンペーン署名活動にも協力
④支部例会のあり方について
6月25日　例会
①5月例会提案の情報資料を持ち寄り、マンション郵便受けのピンク・チラシ、コンビニで売られている女児物ポルノ誌等々について報告
②ゲスト青木のぞみさん（関東学院中学高校教諭）によるスウェーデン教育事情および当地の「子どもの権利条約」の教え方・テキストについてお話
③房野会員より「優生保護法改正」についての緊急アピール
6月下旬　神奈川支部五十年史をまとめるため、古参の会員各姉に電話取材や、資料送付をお願いした結果、原稿を本部へ送る。
7月19日　例会
①「ディジション・メイキングへの女性の参画」をテーマに房野会員が全国地方議会や自治体における女性議員比率・管理職比率などを中心に講演
②県の新しい「女性プラン」案のパンフレット配布
③会員手作り品を中心にしたバザー
9月21日　例会
①「英国大卒女性連盟訪問の旅」の報告　JAUWから19名参加のスコットランド訪問について房野会員のお話
②県・女性政策室作成の「新しい女性プラン」案、普及用パンフレットの読み合わせ　意見発表
③11月見学会準備、中間報告
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に6名参加
9月29日　全国セミナーに9名参加
平和学研究会の平和学研究会には田中正子委員長他2名の会員がメンバーとして協力
10月9日　JAUW国外奨学生ハンダン・トゥンジェルさんを迎え、有沢奨学委員と会員3名と会食　ガン学会期間中の2日間、菊池孝子会員宅にホームステイ
10月19日　例会　「子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」（8月末ストックホルム）報告とアピール
講師　日本キリスト教婦風会　宮本潤子氏
三宅桂子会員
公開講演会とし、22名東京支部より2名参加
11月16日　例会　大磯吉田茂邸での、見学と会食
東京支部ほかの参加を得て19名出席　解散後城山公園散策
12月14日　①国内奨学生表彰式に3名出席　支部応募者1名受賞
②役員会
③例会（忘年会）かながわ女性会議主催　新春関定子コンサート券販売
1月18日　JAUW臨時総会・新春の集いに3名出席
バザーコーナーで一筆箋等販売
1月25日　人材名簿を集約し、本部へ発送
2月7日　役員会　97年度行事計画、全国セミナーについて　会員募集および支部総会提出議案について
2月15日　例会
①「バンガロール・アジア大学婦人連盟会議に出席して」ヤングメンバー三上晶子会員の報告
②臨時総会・新春の集い報告
③97年度全国セミナー研究テーマについて
3月7日　96年度全国セミナー決議をもとにした「要望書」を労働省神奈川婦人少年室、横浜市市民局へ持参
3月12日　前記要望書を神奈川県女性政策室へ提出する。神奈川県教育委員会には郵送で提出する。
3月15日　例会　今年度国内奨学生数名を招待し、交流をはかる。
◎かながわ女性会議関係
1. 大学婦人協会神奈川支部は二期目の常任委員となるため、担当委員をおく。4月より房野桂会員が同会議代表に選出され、県が作成中の〝新しい女性プラン〟策定に向けて女性会議の提言作りに、房野元支部長・田中前支部長・中嶋常任委員が加わる。
2. かながわ女のフェスティバル（10月26、27日）、関定子新春オペラ・歌謡コンサート（1月19日）に参加・協力
◎田中正子会員は神奈川県公害審議会委員・同生涯学習審議会委員を継続、房野桂会員は県立かながわ女性センター運営協議会委員・県女性問題協議会委員・横浜弁護士会人権賞選考委員等に在任中である。
事業計画（97年度）
4月1、2日　通常総会に参加
4月19日　支部総会とバンガロール・アジア大学婦人連盟報告　その2
5月中旬　全国セミナーのためのミーティング
5月22日　見学　(財)難民事業本部・大和定住促進センター
5月24日　かながわ女性会議創立15周年記念講演会に参加
6月21日　セミナー研究に関する講演会
7月19日　セミナーに関する作業や検討会、〝女児〟の問題その他も随時ととりあげる。
7月下旬～　随時セミナーのためのミーティング
9月上旬～　原稿確定と印刷
9月20日　例会
9月下旬　全国セミナー参加
10月18日　リクリエーション又は見学（公的施設の場合は週日に）
11月15日　IFUWの課題「思春期の少女」について、講演と学習
12月13日　やさしいクリスマス菓子教室と親睦会
1月　JAUW新春の集いに参加
2月21日　国内奨学生との交流会

静岡支部

鍋倉　伸子

会員数　76名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会に5名出席
4月13日　支部総会　95年度事業報告・会計報告、国際会議報告、第39回通常総会報告、開発教育支援基金報告、96年度役員改選、96年度事業計画、97年支部設立50周年に向けて、50周年記録委員会設置
講演会「皆で支えあう高齢社会―介護保険の議論が問いかけること―」
講師　勝又幸子支部会員（国際会議ヤングメンバー、社会保障研究所研究員）
5月18日　セミナー学習会開始　以後8回の学習会を行う。
セミナーのテーマ「働き続けるために―ディジション・メイキングへの一歩」
20～40代女性を対象としたアンケート調査、その結果を踏まえ、関係機関でヒアリングを行う。責任者　河村總子会員と決定
8月3日　公開講演会「よりよい選択のために―女性が働き続けるということ―」
講師　加納実紀代氏（女性史家）
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に6名出席
9月29日　全国セミナー
10月19日　勝又幸子会員
旧マッケンジー邸で句会　指導山本その
鈴木キミエ支部会員
11月30日　報告会　県の海外研修に参加の林幸子支部会員、アドバンスクラブ（県の女性管理職の会）会員も招き交流
12月10日　楽寿の園（特養老人ホーム）創立20周年記念式典にて奉仕団体として表彰を受ける。
1月18日　JAUW臨時総会に1名出席
1月18日　支部新年会
1月31日、2月28日、3月21日　公開講座（3回シ

リーズ）
「ロシアについて」
講師　保田孝一岡山大学名誉教授
△対外活動・その他▽
○県女性総合センター交流会議、県女性団体代表者行政連絡会議、ユニフェム日本国内委員会所属
○曹洞宗国際ボランティア会、シャプラニール＝市民による海外協力の会、静岡アフリカセンターを支援
□楽寿の園　奉仕　毎月1回、役員会　隔月開催

事業計画（97年度）
4月2日　JAUW第40回通常総会に出席　以後の計画は、支部総会で決定

愛知支部

小谷野錦子

会員数　75名
賛助会員　2名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会に8名出席
4月21日　支部総会　95年度事業報告・会計報告、96年度事業計画と予算審議他　出席者27名
講演「男女共同参画型社会に向かって－あなたの夢の実現のために－」
講師　名古屋国際センター事務局長浅野道子氏
5月16日～22日　消費者問題国民会議・96名古屋大会参加　環境問題パネル展示
5月19日　第1回例会　出席者21名
講演「バイオテクノロジーにより地球の砂漠化は防げるか－日本の婦人研究者グループによる挑戦」
講師　名古屋大学生物分子応答研究センター助教授　高倍鉄子氏
5月25日　懇談会・講演「高学歴女性のライフコース：仕事・結婚・育児」出席者14名
講師　米国ノートルダム大学博士課程・ミシガン大学客員研究員　平尾桂子氏
6月22日　第2回例会　出席者25名
講演「21世紀の日本女性の意識改革－ボーダレス時代における異文化コミュニケーション的見地から－」
講師　名古屋商科大学教授　ジョリー幸子会員
7月27日　第3回例会　出席者21名
講演「女性とボランティア－参加から参画を考える－」
講師　名古屋市ボランティア情報センター所長　小林いく子会員
9月21日　第4回例会　出席者21名
講演「環境教育・啓発について－バンクーバーと比較して－」
講師　愛知学泉女子短期大学教授　寺田純子会員
11月15～17日　名古屋市経済局主催第19回名古屋消費者広場参加、NICふれあいフェスティバル参加、旅行など

25弦箏演奏　野坂恵子氏（懇親会4月1日）

岐阜支部

松井　恵美

会員数　13名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
6月16日　支部便り発送
7月6日　総会　出席者5名
本年の事業として、本部のテーマに沿って、岐阜県岐阜市の婦人の政策決定参画について実態調査を行うことに決定
8月上旬　岐阜県岐阜市に女性参画の資料請求文書発送
中旬　岐阜県より資料送付、それについて県庁女性政策室に行き懇談、追加資料を入手
下旬　岐阜市及び労働省岐阜婦人少年室長からの資料を加え、9月の本部セミナーにむけて資料を整理
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に出席1名
9月29日　大学婦人協会全国セミナーに参加1名
10月16日　支部便り発送
11月16日　勉強会：テーマ「婦人の政策決定参画についての実状」
講師　労働省岐阜婦人少年室長　田中史衣氏
出席者6名
岐阜県岐阜市の婦人政策参画資料ファイルを回覧開始
2月　支部便り発送予定

金沢支部

山村　福子

会員数　35名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会に代表出席
5月25日　研究会「中国経済の現状と未来」
講師　金沢経済大学客員教授　唱　新氏
6月11日　役員会　支部総会の打ち合わせと記念誌編集
7月5日　記念誌「四十六年のあゆみ」刊行
7月7日　支部総会　95年度事業報告・会計報告、96年度事業計画・予算を審議、可決
7月22日　役員会　記念誌贈呈先を検討、発送
9月4日　第41回通常総会のための第1回総会準備委員会開催
9月15日　敬老の日に80歳以上の会員にお祝いの品を贈呈
9月28日　石川県国際交流団体連絡会に代表出席
10月5日　研究会「仏教美術の基礎知識」
講師　金沢文化財保存修理研究所長　川口法男氏
11月30日　研究会「石川県の教育について思うこと」
講師　石川県教育委員　石野和子会員
石川県手をつなぐ育成会と、石川県肢体不自由児協会へ年末寄付金を贈る。また、地方教育行政功労者文部大臣表彰を受賞した石野和子、金沢市民文学賞を受賞した本岡歌子、小松市文化賞を受賞した松村「精の3会員にお祝いの花を贈る。
1月13日　金沢国際交流団体連絡会に代表出席
2月5日　第2回総会準備委員会開催
2月23日　新年会　トルコからの留学生をゲストに招き、会食後トルコの現状について話を聞く。

事業計画（97年度）
4月1～3日　JAUW40回通常総会に代表出席
4月3日　親睦会
事業計画（97年度）
5月頃総会、11月頃勉強会、3月頃親睦会

京都支部

稲本　英子

会員数　96名
支部会費　1000円

事業報告（96年度）
◎本部関係
4月3日　JAUW第39回通常総会に9名出席
9月28、29日　JAUW創立50周年記念祝賀会、全国セミナーに7名出席
1月18日　臨時総会に2名出席
◎支部総会
4月20日　①議事　国際会議、全国セミナーの報告　昨年度の事業、会計報告、監査　96年度の事業計画
②講演「平安京の歴史と文化」
講師　上田正昭大阪女子大学学長
◎支部例会
5月11日　講演「ターミナルケア」
講師　稲本　晃京都大学名誉教授
6月29日　講演「米国の多文化について」
講師　米国五大学東アジア研究所顧問　横田啓子氏
汎太平洋東南アジア婦人協会との共催
7月13日　講演「ヨルダン、イスラエルを訪ねて思うこと」
講師　房野　桂氏
9月5日　講演「訴訟と調停と審判－我が国の民事司法制度に則して」
講師　山木戸克己神戸大学名誉教授

福井支部

木村　温美

会員数　15名
支部会費　1000円

2月　新年会
6月　研究会
7月6日　支部総会
9月15日　敬老の日に80歳以上の会員にお祝いの品を贈る。
11月　年末寄付金を募り、例年通り2団体へ贈呈
12月　第4回総会準備委員会開催
1月　第3回総会準備委員会、全国セミナーの報告
2月15日　講演「女性の自立に必要なコミュニケイション」
講師　フリーアナウンサー・トークトレイナー　岩崎裕美氏
3月1日　講演「女性への社会的評価」
講師　新福祐子大阪教大名誉教授（会員）
◎その他
1月28日　「女性の参画」要望書を持参、知事その他5カ所の関係機関の長に面会手渡した。
1月31日　国際婦人年京都連絡会新春のつどいに3名参加
2月14日　京都府女性団体懇話会に1名出席
ドイツ語会話講習会を継続開催
支部50年史の製作開始
フィンランド・ラーティ支部との交流をかさね、お互いの現状を報告
役員会　4／25、5／30、6／20、7／25、8／6　9／10、10／30、11／14　1／8、1／27

事業計画（97年度）
4月1、2日　第40回通常総会12名出席
4月26日　支部総会と講演「ワーキングウーマンと企業社会」
講師　筒井清子京都産業大学教授
5月以降については支部総会で協議決定する。

奈良支部

疋田　洋子

会員数　80名
支部会費　1000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会に出席
4月27日　支部総会と講演会、全国セミナーの報告　JAUW創立50周年記念祝賀会、全国セミナーの報告
2月15日　講演「女性の自立に必要なコミュニケイション」
講師　フリーアナウンサー・トークトレイナー　岩崎裕美氏
3月1日　講演「女性への社会的評価」
講師　新福祐子大阪教大名誉教授（会員）の「職場と家庭の両立」のお話を聞く。

事業計画（97年度）
4月18日　新年会
大下道京都造形芸術大学名誉教授（会員）の「職場と家庭の両立」のお話を聞く。
2月15日　講演「女性の自立に必要なコミュニケイション」
講師　フリーアナウンサー・トークトレイナー　岩崎裕美氏
3月1日　講演「女性への社会的評価」
講師　新福祐子大阪教大名誉教授（会員）
◎その他
1月28日　「女性の参画」要望書を持参、知事その他5カ所の関係機関の長に面会手渡した。
1月31日　国際婦人年京都連絡会新春のつどいに3名参加
2月14日　京都府女性団体懇話会に1名出席
ドイツ語会話講習会を継続開催
支部50年史の製作開始
フィンランド・ラーティ支部との交流をかさね、お互いの現状を報告
役員会　4／25、5／30、6／20、7／25、8／6　9／10、10／30、11／14　1／8、1／27

事業計画（97年度）
4月1、2日　第40回通常総会12名出席
4月26日　支部総会と講演「ワーキングウーマンと企業社会」
講師　筒井清子京都産業大学教授
5月以降については支部総会で協議決定する。

大阪支部

江幡　淳子

会員数　83名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会出席
4月19日　支部総会
5月7日　支部役員会
5月11日　支部例会「文明としての経済」
講師　吉田時男氏
6月29日　支部例会　セミナーに向けて
7月5日　調査委員会
7月13日　神戸・大阪合同支部例会「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
講師　北村春江氏
7月20日　支部例会「コンピューターによるデータ整理について」
講師　武副礼子氏
8月5日　調査委員会
8月17日　調査委員会
9月7日　支部例会「各分野における女性の活躍の実態と社会参画に対する調査」山崎雪子会員報告
9月15日　「大阪支部だより」発行
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に出席
9月29日　全国セミナー参加報告
10月13日　支部例会　バスツアー「近江八幡市街ぶらり観光と水郷めぐり」
10月16日　支部例会「阪神淡路大震災と地理情報システム（GIS）」
講師　碓井照子氏
1月15日　親睦昼食会　トルコ大学婦人協会会員シベル・ヴェンデ氏招待
2月15日　支部例会「トルコ大学婦人協会とその活動」
講師　シベル・ヴェンデ氏
2月20日　大阪支部関係諸機関へ「要望書」を送付
3月22日　神戸・大阪合同支部例会「中村道子氏を囲んで」支部発足50周年記念会
「神戸支部50年のあゆみ」、「大学婦人協会・神戸支部規約」発行
その他、毎月役員会開催
ドイツ語クラス　茶道同好会　音楽を楽しむ会　随時小委員会を開催
「支部だより」毎月1回発行

事業計画（97年度）
役員交代のため新役員で決定する。従来行われているものは継続される予定

神戸支部

五十嵐かほる

会員数　202名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月20日　支部定期総会
5月19日　京都嵐山で三船祭を楽しむ会
6月14日　インターネット入門
6月22日　講演「民法改正について」
講師　弁護士岸本洋子氏
7月13日　講演「ディシジョン・メイキングへの女性の参画－地方自治は女性の手で」
講師　北村春江芦屋市長
9月21日　講演「薬師寺よもやま話」
講師　村津弘明兵庫県立技術見学
10月26日　講演「神戸と生田神社」
講師　加藤隆久宮司
11月7日　秋季バスツアー　富本憲吉記念館と薬師寺拝観
12月5日　ティーセミナー「紅茶で遊ぶ・観る・考える」
講師　堀江敏樹氏　紅茶研究家
1月25日　講演「日本人の食生活－ベジタブルのすすめ」
講師　江幡淳子氏　ジェフ野菜研究所所長
2月9日　音楽会「錦織健テノールリサイタル」
2月22日　講演「ウイルスとワクチン」
講師　加藤四郎大阪大学名誉教授
3月22日　中村道子氏を囲んで支部発足50周年記念会
「神戸支部50年のあゆみ」、「大学婦人協会・神戸支部規約」発行
その他、毎月役員会開催
ドイツ語クラス　茶道同好会　音楽を楽しむ会　随時小委員会を開催
「支部だより」毎月1回発行

事業計画（97年度）
役員交代のため新役員で決定する。従来行われているものは継続される予定

岡山支部

高田　武子

会員数　81名
支部会費　2000円

事業報告（96年度）
4月3日　JAUW第39回通常総会出席
4月20日　支部総会出席者27名
95年度事業報告・会計報告、96年度事業計画・予算案承認他
講演「デザインと社会活動」
講師　橋ヶ谷佳正岡山大学教育学部助教授
5月10、14日　バザー準備（ケーキ作り、値付け）
5月17日　チャリティバザー（あやめ会と共催「外国人による日本語弁論大会」の資金獲得のため）
5月～　セミナーのための学習会（20回）
6月8日　第1回例会出席者22名
講演「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
講師　石田美栄参議院議員（岡山支部会員）
7月8日　第2回例会　パネルディスカッション「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
パネリスト
岩瀬悦子氏　岡山県女性青少年対策室室長
戸田　豊氏　中国銀行研修室室長
尾崎糸萌氏　ボナミ企画取締役
寺田和子会員　岡山市議会議員
高田武子支部長　岡山市教育委員
8月3、4日　「女性学研修会」にて発表　4名
8月25日　岡山県知事選候補者に公開質問状送付
9月20日　岡山県知事選候補者の公開質問状回答を会員に発送
9月28、29日　大学婦人協会50周年記念祝賀会　出席者4名
全国セミナー出席者4名
「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
近藤みち子会員発表
10月12日　第3回例会（公開・若い人に呼びかけ）
出席者25名
講演「働きやすくするための女と男の新しい関係」
講師　清野幸代氏　弁護士
11月10日　第13回「外国人による日本語弁論大会」（財）岡山県国際交流協会と共催　出場者19名　出席者200名
12月8日　岡山支部30周年記念支部長懇談会　出席

《国外奨学生報告会》

分子生物学と発癌の仕組み

国外奨学委員　平野和子

96年度の国外奨学生としてトルコから来日したハンダン・トゥンジェルさんの研究報告会が2月16日(日)、アルカディア市ヶ谷で開かれた。分子生物学を専攻するトゥンジェルさんは、昨年9月に来日して以来、広島大学医学部第一病理学研究室で熱心な研究生活を送り、90枚ものスライドを用意して、その成果を発表した。発表内容は専門用語が多く、難しかったが、その熱意に出席者は感動した。内容を要約すると次の通り。

近年、悪性腫瘍の発生が基本的な遺伝子の異常と深い関係があることがわかってきて、各種の腫瘍に見られる特有の遺伝子の異常から、悪性新生物をより正確に診断、分類する新しい技術が生まれた。遺伝子治療は、従来の外科療法や放射線療法に多く見られる正常細胞への副作用もなしに、癌細胞だけを除去するすぐれた方法である。いわば「遺伝子治療」の時代を迎えた今日、分子生物学による技術を学び、これを活用することが重要だと考えて、この道の研究に取り組んでいるという。

次いで、癌発生のメカニズムの説明に移り、正常細胞の中にあって遺伝子の突然変異を抑制する細胞が何かのはずみで異常を来し、変異した細胞が増殖を始めるのが原因だとした。変異した細胞はしばらくは外見的に正常に見えながら過形成と呼ばれる状態で異常な増殖を続け、やがてその細胞の子孫の形状と向きが異常になり、更に突然変異を経て下部組織へと侵入、他の臓器に移転していく。

本来、正常な細胞は刺激因子と抑制因子をもつ細胞サイクル時計と呼ばれる分子機構によって、その増殖がコントロールされているが、遺伝子の突然変異によって、刺激回路に異常に多くの「ゴー」サインが送られたり、抑制回路に「ストップ」サインが送れなくなると、細胞は自滅するか、癌化して異常な増殖を始めるというのである。

このあと、遺伝子の異常と発癌との関係を探り、また遺伝子の組み替えによる癌治療につながるものとして、広島大学で研究した10数種の方法を具体的に説明したが、専門的すぎるので割愛する。トルコの景勝地カッパドキアや古い家などのスライドを見せながら、故郷の興味深い話も聞かせてくれた。

東京支部から記念にスカーフを贈られ、謝意と帰国後の抱負を語って、報告会は終了した。分子生物学という最先端の難しい研究に取り組む彼女が日本での研究を今後に生かし、癌の早期発見、治療に貢献する道を歩んでほしいと期待する。

ビーナ・ロイ開発パートナー基金の企画に参加して

神戸支部　津村直子

神戸支部では、支部発足50周年記念事業の一つとして、ビーナ・ロイ開発パートナー基金の企画に参画することを決め、資金の提供先にウガンダ(UFUW)を選んで、このほど申し込みの手続きを済ませました。

96年6月の役員会で参加が決まると、直ちに資金集めにとりかかり、ミニバザーやお茶会の開催など、地道な努力を重ねた結果、97年3月には目標額の資金を手にすることができました。この基金への参加に、会員の方々の積極的な協力が得られたについては、次のような背景があったと思われます。まず、当支部の会員が、より確かな社会的意義を支部活動に求めていたこと。教養や親睦のための催しばかりでなく、社会に貢献できる何かをしたいという意見が、役員会などで、繰り返し出されていました。

次に、94年度の研究テーマに、ボランティア活動を当支部が取りあげたこと。セミナーに向けて準備を進めて行く中で、社会的貢献の形も次第にはっきりとしたものとなり、「会の目的に合った貢献」「大学婦人協会ならではの貢献」といった言葉が、当時しきりに飛び交ったのを覚えています。

さらには、95年に国際会議が横浜で開かれたこと。地球が狭くなったと実感する一方で、特に女性を取り巻く環境の、国家間の格差の大きさに、少なからぬショックを受けたことでした。地球レベルでの、貧困や暴力、環境破壊といった問題に、日本人としてまた女性として、どう関わり、何ができるのかは、会員一人ひとりに残された課題だったと思います。

この度、支部発足50年を機に、私達のこうした思いをビーナ・ロイ基金への参加という、意義ある形で実現できたということは、当支部にとって嬉しいことです。アフリカ中部に位置するウガンダ共和国については、これから勉強するところですが、内戦が長く続いたこと、平均寿命は50歳ほど、義務教育なし(資料91年)などの点だけからしても、特に女性にとっての厳しい状況が想像されます。

神戸支部のUFUWへの支援が、そのプロジェクトの成功を促し、ウガンダでの女性の地位の向上に少しでも役立つことを願っています。

者22名
1月18日　岡山支部30周年記念祝賀会・新年親睦会
　出席者22名
3月8日　第5回例会
(第4回例会)招待者11名
講演「21世紀の男性の生き方」
講師　今西通好氏　国際子どもフォーラム岡山事務局長
3月26日　知事に要望書提出
その他　岡山支部発足30周年記念誌発刊
「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」(岡山支部の取り組み)冊子作成

事業計画(97年度)
4月上旬　JAUW第40回通常総会出席
4月下旬　支部総会
11月「外国人による日本語弁論大会」
例会　5回　JAUWの年間テーマに添って内容を決定
弁論大会の資金作りのためのバザー(期日未定)

広島支部

青山君子

会員数　42名
支部会費　2000円

事業報告(96年度)
4月3日　JAUW第39回通常総会出席
4月6日　役員会　96年度広島支部総会に関して
5月11日　広島支部総会
95年度事業報告・会計報告・会計監査報告・JAUW総会報告・広島県の婦人の地位向上と社会参加をすすめる会報告・広島市女性団体連絡会議報告・広島市婦人教育会館婦人団体・グループ連絡会報告、96年度役員改選・96年度事業計画・96年度予算案・全国セミナー参加の件「平和教育」をテーマに選ぶ。
6月1日　第1回セミナー準備会及び役員会
「広島の平和教育」の研究に取り組むことにする。まず身近な所から資料を集める。
6月2～21日　会員各自の資料収集に加え、広島県、広島市、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島平和教育研究所、広島教育研究所、広島市教育センター、広島平和文化センター、折鶴の会等の資料収集、高等学校7校、中学校4校を訪問し、平和教育の現状を調査
6月22日　第2回セミナー準備会
平和教育関係資料を持ち寄り、内容の要約を分担
6月29日　第1回例会
講演会
「広島女学院中学・高等学校における平和教育」
講師　広島女学院中学・高等学校教諭
片山美代子氏
6月30日～7月27日　中国新聞社、峠三吉資料等収集、高等学校3校、中学校4校を訪問
7月28日　第3回セミナー準備会
資料を持ち寄り、各自の分担した要約とともに内容の検討
7月29日～8月17日　旧制中学、高等女学校同窓会関係資料の収集、高等学校2校、中学2校を訪問
8月9日　平和教育の原点となった長田新編「原爆の子」についてご遺族に聞く。
8月18日　第2回例会『原爆の子』をめぐって」
舟橋喜恵会員
平和教育の資料分類とまとめ
8月22日　第4回セミナー準備会「広島の平和教育」についてのまとめ
8月23日～9月10日　広島県教職員組合、旧制高等女学校同窓会等資料収集、高等学校2校を訪問
9月28日　大学婦人協会50周年祝賀会出席
9月29日　全国セミナー「広島の平和教育」中間発表
10月26日　第3回例会
講演会
「ジャーナリストの立場からみた平和教育─平和教育は化石となるか─」
講師　中国新聞社論説委員　栗栖武士郎氏
1月4日　広島大学医学部に留学中のJAUW国外奨学生、トルコ・イスタンブール大学大学院生ハンダン・トゥンジェル氏を有志が広島市内案内
1月15日　有志で岩国錦帯橋とその周辺案内
1月25日　新年会とトゥンジェル氏との交流会
2月9日　トゥンジェル氏を「中国舞踊祭」に招待、終了後お別れ会
3月1日　第4回例会予定

事業計画(97年度)
支部総会において計画の予定

山口支部

中村秀子

会員数　20名
支部会費　2000円

事業報告(96年度)
6月　山口県婦人団体連合理事会
7月　婦人団体ジョイント・フェスティバル
7月　山口支部総会
8月　山口県国連総会
10月　山口県ユネスコ大会
11月　外国人による日本語スピーチコンテスト(国連主催)
2月　国連NGO婦人団体連絡協議会
3月　山口支部20周年記念の会

事業計画(97年度)
2月の役員会で協議決定の予定

愛媛支部

太田万寿子

会員数　5名
支部会費　2000円

事業報告(96年度)
4月2日　JAUW第39回通常総会に1名出席
4月10日　支部会費2000円と決定
5月9日、6月10日、7月8日、7月18日、9月3日　自主学習会として、国連大学講義録、第25回国際会議の報告書を英文で読む。
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会に3名参加
9月29日　全国セミナーに3名参加
11月5日、12月3日、1月28日　「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」をテーマにミュンヘン市役所の取り組みを英文で読む。
1月18日　松山市主催の「松山女性フォーラム」に4名参加　特に「社会参加」「政策決定への女性の参画」には運営委員として参加
2月25日　97年度の事業計画決定予定
松山市女性海外派遣された浜田さんも新たに学習会に参加

事業計画(97年度)
2月に計画決定予定

高知支部

池川順子

会員数　1名

大分支部

井上富江

会員数　24名
支部会費　3000円

事業報告(96年度)
4月3日　JAUW第39回通常総会出席
4月13日　役員会　総会準備
4月27日　支部会計監査
5月25日　支部総会
6月10日　地方分権委員会主催「大分一日地方分権委員会」
6月19日　大分県女性青少年課主催「女性の団体活動推進会議」
6月22日　役員会(例会準備、セミナー発表の件)
7月6日　支部総会
講演「風土と人間、人生と文学」
講師　長谷目源太氏
仏英会話ミニレッスン、セミナー中間報告
9月5日　大分県女性青少年課主催「男女共生セミナー公開講座」
9月28日　大学婦人協会50周年記念祝賀会出席
9月29日　全国セミナー参加
「ディシジョン・メイキングへの女性の参画」
大分支部　パネリスト
藤内和子会員
10月5日　役員会(例会準備)
10月27日　支部例会
研修旅行(普光寺石仏、竹田荘、朝地町朝倉記念館見学)
12月5日　大分県国際交流センター主催「国際理解教室アジアセミナー」
12月26日　役員会(要望書の件)
大分県知事および県議会議長、同議員、各市長および市議会議長、同議員、県市教育委員会宛の要望書提出のため県庁、市役所、議長室、教育委員会室、青少年課等を訪問、要望書の趣旨説明
直接手渡せない部署へ発送
12月27日　前日不在で説明できなかった部署訪問
2月8日　大分県福祉生活課主催「男女共生のためのエンパワーメント講座」
演題「男女共生社会を創る」
講師　金平輝子氏
公開座談会「政策、方針決定は、男女共生で」
2月13日　大分県教育委員会、大分ユネスコ協会連盟共催
平成8年度大分県国際交流活動研修会　講演およびパネルフォーラム
役員会(例会準備)
2月22日　支部例会　国際交流会　日本とフランスの家庭料理
講演と料理実習
講師　大分国際交流員
セシル・グロス氏

事業計画(97年度)
1、前年度からの男女共同参画社会実現にむけて積極的に取り組むこと。
2、異文化理解に努めアジア、西欧各国との交流に他機関と協力しながら努力すること。
3、次回世界大会にむけ、前年度からの外国語の習得を楽しく続けること。
4、例会はできるだけ開き、会員の拡大に取り組むこと。
5、JAUW総会後、その他の計画について討議する。

熊本支部

安部秀子

会員数　38名
支部会費　2000円

事業報告(96年度)
4月3日　JAUW第39回通常総会出席2名
4月17日　熊本国際交流活性化連絡協議会出席
4月18日　役員会　支部総会準備打ち合わせ
4月24日　熊本国際交流活性化連絡協議会総会出席
4月27日　支部総会　95年度事業・会計報告、新支部長、会計係就任
5月14日　県民生活総室へ平成8年度女性団体調査票提出
5月14日　「ストップ子ども買春の会」の請願書に署名
6月1日　役員会　96年度事業打ち合わせ
6月12日　日本国際連合協会熊本県本部理事会・総会出席
6月25日　大学婦人協会50年史「支部の歩み」原稿寄稿
7月4日　例会(第1回)県立熊本養護学校訪問見学
9月28、29日　大学婦人協会50周年記念祝賀会・セミナー出席2名
10月13日　例会(第2回)清和文楽鑑賞・通潤橋見学
12月14日　役員会　国際交流行事について打ち合わせ
12月27日　支部会員調査、名簿整理
1月18日　JAUW臨時総会・新春のつどい出席
2月8日　例会(第3回)新年会・国際交流
招待者　田代クリスチーナ氏、ネトルマンりえ子氏
話題「アメリカやアルゼンチンにおける家庭教育について」

事業計画(97年度)
未定

福岡支部

篠原しのぶ

会員数　53名
支部会費　3000円

事業報告(96年度)
4月3日　JAUW第39回通常総会　2名出席
4月14日　福岡支部総会
95年度事業報告・会計報告
96年度事業計画・予算案承認
5月19日　例会「生涯教育について」
講師　南里悦史九州大学教授
6月9日　例会「9月のセミナーに向けての準備の会」
7月13日　例会「アンケート用紙の作成」
8月5日　例会「女性の高学歴化現象について」
講師　平田昌福岡教育大学名誉教授
9月8日　例会「女性議員の背景を探る─今後のディシジョンメイキングに向けて」(福岡県の場合)
講師　船津桂江会員
9月29日　セミナーで船津桂江会員発表
10月10日　例会「アジアマンス参加」
福岡女性フォーラム、96
11月10日　例会「生涯学習フェスティバル」参加
12月1日　例会「女性に対する暴力」国際シンポジウム参加
「立ち上がったアフリカの女性たちと手をつなぐ」
1月26日　例会　新年宴会
今年の抱負をそれぞれが語った。
バザー
2月　会報発行
3月9日　例会　反省と次年度の事業計画

事業計画(97年度)
講演会を中心に北九州市で例会を開催する予定　市の主催する催し(アジアマンス、女性フォーラム等)にも参加の予定

長崎支部

鹿児島支部

大久保美智子

会員数　1名

アジア大学婦人連盟総会

テーマ「アジアの女性－環境・開発と平和」

IFUW第二副会長 青木怜子

1996年度のアジア大学婦人連盟（UWA）総会は、一年遅れの今年1月、インド南部の町、バンガロールで開催された。アジアの加盟国をアルファベット順に回り、三年に一度総会が開かれる。

今回は「アジアの女性－環境・開発と平和」を主題に1月3日、4日の両日、各題目を網羅しての多岐にわたるセッションとワークショップがもたれた。セッションⅠでは、「環境と開発」と題し、スリランカ、インド、日本、ネパールの現状報告があり、JAUW からは江尻美穂子会員（代読、田中祥子氏）のレポートが読まれたほか、青木が司会をした。

セッションⅡでは、「個人の自覚と責任」と題し、キャリアを積む女性の体験や意識、問題点などが3人のインドのキャリアウーマンたちにより熱心に討議された。セッションⅢでは、「環境をめぐる法と政策」について、法律と環境の専門家たちが、インドの環境規制法について検証し、世界で最も厳格な法規制をもつインドが、施行面では最も立ち遅れていると、手厳しく裁断した。

最後に、「ワークショップ・平和」が開かれ、チトラ・ゴーシュ前IFUW会長の司会で、「家庭」「地域」「国際間」の暴力についてプレゼンテーションが行われた。そのあと、全参加者がこのテーマをもとに三グループに分かれて討議し、各グループから出た決議を採決して、終了した。

会議は、インドのカルナタ州知事シュリ・クルシッド・アラム・カーン氏を迎えての厳かな開会式、インド各地に伝わる地方色豊かな伝統舞踊、現在インドで最も活躍している女性（シャクンタラ・ナラシマン氏）の表彰式など、郷土色ある演出で参加者を喜ばせた。

しかし、それにも増して、インド大学婦人連盟会長ネリー・ダーカナス氏を筆頭に、バンガロール支部長による心こもった心遣いや接待に勝るものなく、一同心温もる思いで、大会を終えた。次回の当番国は、日本。三年後、99年の大会を前に、UWAの事務局は今年、日本に移されることになっている。

なお、今回、JAUWからは、2人の若手会員を含む6人が参加した。私は、JAUWの会員であると同時に、IFUWを代表し、開会式では、ポスキット会長のメッセージを紹介すると共に、「高等教育を受けた女性と平和」と題し、基調講演を行った。

若手会員として参加

－貧富と教育の差 歴然－

愛知支部 柳堀朗子

新年早々にインドで開催された、アジア大学婦人連盟総会に若手会員として参加させていただいた。一昨年に横浜で行われた国際大学婦人連盟総会とは異なるのこじんまりとした総会であった。インド近隣の国々やインド支部の方々の参加が中心であり、サリーを纏う人々の中で、日本から参加した私たち6名は否応なく目立ってしまったようである。

会議は「環境・開発と平和」のテーマの下で、各国の現状報告やテーマ別のグループ討論が行われた。グループ討論では、コーヒーブレイクも忘れて意見の交換が活発に行われた。まさに白熱した討論を展開しているグループもあり、日頃、どちらかというと意見の少ない会議の経験が多い私としては、その雰囲気に圧倒されてしまった。

私は「国際間の平和」のグループに参加したが、貧困や教育の不平等の問題を解決する必要性という意見がインドやネパールの参加者から強く出された。国内問題とも思えるこれらの問題が、経済・教育格差の大きいアジアでは、そのまま国際問題にもつながっていることをあらためて認識するとともに、アジアの一員として、日本はどのようにあるべきなのだろうかと考えさせられた。また、労働や少数民族の問題も出され、国際間の平和の実現には多様な問題の解決が必要であることを実感した。

会議はインド大学婦人連盟バンガロール支部の方々を中心に、細かいところまで心遣いをされた接待がなされ、本当に感謝の一言に尽きるものであった。会議の内容が盛りだくさんで、インドの若い会員の方々とゆっくり話をする時間はなかったが、交流を持つことができお互いの国情について多少なりとも話ができたことは本当によかったと思う。

会場となったバンガロールはインドのシリコンバレーと言われ、開発が積極的に行われている所である。近代的な高層建築が建ち、きれいな印象が強いが、路地に入ると薄汚い長屋のような住居が密集している。貧富の差は歴然で、町を歩けば否応なく自分は富める者、高等教育を受けた者であることを認識させられる。

会議のテーマをあらためて思うとき、この多様な現実に対して私たちはどのように取り組んでいくのがよいのだろうか……と考えてしまった。

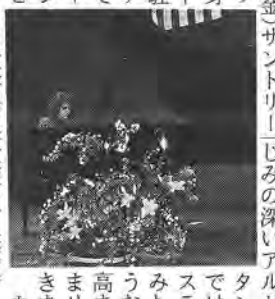
ウルグアイ チャリティー コンサートへ協力

財務委員長 井口美登利

元ウルグアイ大使赤松良子氏からのお話でチャリティー・コンサートに協力することになりました。

2月21日(金)サントリー小ホールでウルグアイ出身のピアニストであり現在駐日アルゼンチン大使夫人でもあるポリー・フェルマンさんによるピアノコンサートに大学婦人協会として協賛いたしました。当夜は今冬一番ともいえる北風吹き荒れる寒い夜でしたが小ホール満員の観客はインターナショナルな雰囲気のなかで南米のリズムを堪能いたしました。

ジャパン・タイムズ紙が「アメリカ音楽の最もさわしい演奏家』と認めているポリー・フェルマンさんの名演、とくに私共にもなじみの深いアルゼンチン・タンゴの曲目ではおもわずステップを踏みたくなるような躍動的な高まりを楽しませていただきました。



ウルグアイ大使のご挨拶でも大学婦人協会の協力に感謝していただき、私共もウルグアイの若者達の社会復帰教育、職業訓練施設へ少しでもお役立てできましたことは幸いでございました。お力添えいただきましたことに御礼申し上げます。

片山秀子様を偲んで

元大学婦人協会会長 中村ミチコ

片山秀子様ご逝去の悲しいおしらせを突然受けたのは、第40回総会の行事に出席して名古屋から帰宅した4月3日の夜でした。一瞬息も止まる想いで信じられない訃報に接しました。ご家族の皆様の心情が心痛く感じられました。

大学婦人協会創立50周年祝賀会で偶然に同じテーブルで席も隣りになったことを喜び楽しく過ごし、「近い内にゆっくりお会いしましょう。お電話を下さいね』とこの時別れたのが最後になってしまいました。

忘れられない想い出が沢山浮かんで来ます。ご一緒したクライストチャーチ、グローニンゲン、ヘルシンキでの国際会議等々、中でも京都の会議では片山様の仕事は、本当にすばらしいものでした。財務会計の大役を担当下さり、当時としては、女性団体が慣れない大きな国際会議を運営するには思いがけない高額の資金を扱い、三年以上にわたる責任を担ったのでした。

運営資金は文部省初め、数カ所からご援助いただいたので、会議終了後、会計検査院の監査が行われました。帳面書類等の整備などに整っていたため、検査官にお褒めの言葉を頂きました。緊張して立ち合っていた私どもは、思わず喜び、誇りに思ったことでした。この時、「宝としてこの書類を大事に持っていたい』と片山様がささやいたお気持ちに強い印象と感銘とを受けました。常に片山様は何事にも丁寧で誠実に慎重に責任を果たされ、しかも驕りのない、控え目で、穏やかなお人柄のもつ暖かさと、熱心さで協会のためにご尽力下さいました。数々のご功績をここに感謝申し上げたく存じます。謹んで安らかなご冥福を心からお祈りいたします。

1997年度 大学婦人協会国内奨学生募集要項

Ⅰ 応募資格

一般奨学生（A）文部省の認可する大学（短期大学を除く）の学部第3学年に在籍する女子学生、あるいは大学院に1年以上在籍する女子学生で、人物・学業ともに優れた者。

（B）文部省の認可する大学〔（A）に同じ〕の学部・大学院に在籍する女子学生で、身体に障害があり、かつ人物・学業ともに優れた者。

安井医学奨学生　医学あるいは薬学などを専攻する修士課程2年以上の女子大学院生であって、学業・人物ともに優れた者。本協会の会員であるか、または授与の時までに会員となること。

Ⅱ 奨学金支給額及び募集人員

一般奨学生（A）	学部生	1人	8万円	5名
	大学院生	1人	10万円	10名
			（うち1名分は東京支部からの奨学金による）	
（B）	社会福祉奨学生	1人	8万円	5名
安井医学奨学生	大学院生	1人	30万円	1名

（備考）応募状況により奨学生の人数に多少変更もあります。

Ⅲ 提出書類

(1) 履歴書（市販のもの、写真貼付、自筆のこと）
(2) 大学婦人協会所定の奨学金交付調書（記入者は在学する大学の学長・学部長・学科長・指導教員のいずれかであること）
(3) 在学する大学の交付する学業成績証明書
(4) 小論文（下記のそれぞれの課題を1200字〔ワープロ使用 A4判 横書 40字×30行 又はB5判400字詰横書原稿用紙3枚〕以内にまとめること）
　一般奨学生（A）（B）：学部生 自分の専攻分野と将来の希望について
　大学院生 修士論文または博士論文の計画と将来の希望について
　安井医学奨学生： 大学院生 自分の専攻分野と将来の展望について
(5) 一般奨学生（B）は所定の身体障害状況調書

Ⅳ 応募手続

応募希望者は、必要書類を所属大学の学長に提出すること。

Ⅴ 出願締切日

1997年8月20日(水)までに、東京都・千葉県・埼玉県及び沖縄県の大学は本部に、その他の地区の大学は当該支部に書類を提出すること。（当日消印有効）

Ⅵ 選考方法

支部長宛に提出された書類は支部会で選考して、2名以上の場合は順位をつけて本部に提出する。本部においては、提出された全ての書類を選考委員会で選考し、その結果を理事会にはかって決定する。

選考の結果は、推薦支部長、本人の在学する大学学長、および本人に通知する。

Ⅶ その他

(1) 授与式の日程は後日通知する。
(2) 不明の点については本部に照会のこと。

社団法人 大学婦人協会
会長 丸山庸子
国内奨学委員長 岩村道子
社会福祉委員長 上田和子
〒160 東京都新宿区新宿7－17－18
戸山マンション241号
TEL 03－3202－0572
FAX 03－3202－0830

平成8年度国庫補助事業

特別会計収支決算報告

特別会計：井口美登利　阿南糸代　駒木三枝子

（単位：円）

収入の部				支出の部				
区分	予算額	決算額	備考		科目	予算額	決算額	備考
国庫補助金	2,500,000	2,500,000		補助対象経費	謝金	325,000	327,000	本部講師1名 支部講師12名
協会支出金	2,547,500	2,504,496			旅費	553,000	553,740	講師、企画・実行委員 支部長、レポーター
セミナー参加費	480,000	676,500	3,000×225 +1,500×1		借損料	420,000	417,237	セミナー会場費、支部・委員会会場費
銀行利息	500	222			消耗品費	150,000	161,732	事務用品、書籍、ワープロ用紙、リボン
					印刷製本費	2,600,000	2,942,995	セミナー要項・プログラム、報告書・別冊
					通信運搬費	972,000	788,294	上記発送、支部・委員会の連絡等
					会議費	210,000	201,316	本部・支部・委員会会議費
					賃金	190,000	186,240	ワープロ入力、アンケート集計、翻訳料
					雑役務費	100,000	98,776	コピー代、現像代、プリント代
					小計	5,520,000	5,677,330	
				その他	雑役務費	8,000	3,888	銀行・郵便振込手数料
					小計	8,000	3,888	
計	5,528,000	5,681,218			計	5,528,000	5,681,218	

＊特別会計収支報告について
セミナー参加費、銀行利息等は直接特別会計で扱ったもので、本部会計には含まれません。
支出のうち、12支部の調査研究費は1,179,822円、1委員会の調査研究費は54,101円でした。
ご協力くださった支部、委員会に改めて感謝いたします。

○上記の収支決算報告について異議のある方は7月末までに会長までお申出ください。
○監査報告　監査の結果、収入・支出ともにすべて正しく記録され、間違いのないことを証明致します。

平成9年3月26日

監事 鈴木照子
監事 根岸愛子

1996年度　社団法人 大学婦人協会収支決算報告書及び貸借対照表

収支計算書

(1996年4月1日から1997年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	1,049,000	1,214,373	+165,373	
基金口座利息				
事業基金利息	429,000	496,145	+67,145	
ホームズ基金利息	20,000	23,999	+3,999	
国際奨学金基金利息	600,000	694,229	+94,229	
2 繰入金収入	50,266,850	50,287,049	+20,199	
'95国際会議剰余金	44,124,689	44,124,689	0	
'96年4月以降収入	6,142,161	6,162,360	+20,199	
3 入会金収入	150,000	111,000	−39,000	
入会金	150,000	111,000	−39,000	111名
4 会費収入	12,240,000	11,060,000	−1,180,000	
正会員会費収入	12,120,000	10,982,000	−1,138,000	1,834口
賛助会員会費収入	120,000	78,000	−42,000	¥4,000×11口
5 補助金収入	2,500,000	2,962,270	+462,270	¥6,000×1,823口
国庫補助金収入	2,500,000	2,500,000	0	賛助¥6,000×13名
平和学奨学金	0	462,270	+462,270	IFUW-JAUW PEACE STUDIES GRANT $3,600
6 寄付金収入	3,212,100	3,427,700	+215,600	
会員その他寄付	3,212,100	3,427,700	+215,600	含東京支部より指定寄付
7 雑収入	3,570,500	3,465,705	−104,795	
受取利息				
運用財産利息	50,000	29,839	−20,161	
審査手数料収入	10,000	0	−10,000	
広告料収入	300,000	200,000	−100,000	
総会参加費	640,000	616,000	−24,000	含臨時総会費
50周年祝賀会参加費他	2,010,000	2,010,000	0	
雑収入				
分担金	480,500	480,480	−20	
名簿	0	0	0	
私用電話他	80,000	129,386	+49,386	
A 当期収入合計	72,988,450	72,528,097	−460,353	
B 前期繰越収支差額	12,849,572	12,849,572	0	
C 収入合計 (A+B)	85,838,022	85,377,669	−460,353	

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
Ⅱ 支出の部				
1 管理費	7,286,100	7,514,891	+228,791	
給料・手当他				
給料・夏・冬手当	2,536,100	2,378,233	−157,867	
保険・退職引当金	500,000	649,473	+149,473	
退職金	0 +300,000	500,000	+200,000	予備費より充当
会議費				
総会費	1,760,000	2,136,988	+376,988	
理事会費	30,000	5,000	−25,000	
役員選考委員会費	5,000	0	−5,000	
旅費交通費	180,000	189,662	+9,662	
通信運搬費	400,000	224,041	−175,959	
什器備品費	50,000	47,160	−2,840	
消耗品費	450,000	593,387	+143,387	
印刷製本費	80,000	171,186	+91,186	
負担金	170,000	204,360	+34,360	
光熱水料金	80,000	117,898	+37,898	
租税公課	45,000	46,180	+1,180	
事務所営繕引当金	500,000	15,000	−485,000	外壁塗装のエアコン移動費
雑費	200,000	236,323	+36,323	
2 事業費	30,152,283	20,026,590	−10,125,693	
国庫補助事業	5,047,500	5,004,496	−43,004	
平和学研究費	0	462,270	+462,270	教育委員会・広島支部・共同研究
1995年IFUW国際会議支出	1,916,783	2,021,395	+104,612	
奨学金				¥100,000×10名 (うち1名東京支部より)
国内奨学金	1,700,000	1,700,000	0	¥80,000×5名 ¥300,000×1名
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	¥80,000×5名
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	¥100,000×1名
国際奨学金	600,000	846,814	+246,814	¥800,000×1名
ヤングメンバー支援金	10,000,000	300,000	−9,700,000	¥100,000×3名
分担金				
IFUW・UWA会費	1,900,000	1,957,681	+57,681	SF12×1,900名
IFUW関係連絡費	200,000	0	−200,000	SF1＝¥85.76
NGOその他	70,000	85,000	+15,000	
助成金				
IFUW寄付金	200,000	200,000	0	ビーナ・ロイ基金へ
支部振興費	100,000	83,400	−16,600	入会者・賛助会員
各委員会活動費	1,000,000	601,240	−398,760	還付金22支部へ
印刷製本費				
名簿発行	0	0	0	
会報発行	1,408,000	1,516,160	+108,160	会報発行182号～185号
通信運搬費	500,000	368,264	−131,736	
50周年関連事業	5,010,000	4,379,870	−630,130	
3 繰入金支出	200,000	100,000	−100,000	
事業基金繰入	200,000	100,000	−100,000	
4 予備費	0	0	0	
予備費	300,000 −300,000	0	0	退職金へ充当
D 当期支出合計	37,638,383	27,641,481	−9,996,902	
E 当期収支差額 (A−D)	35,350,067	44,886,616	+9,536,549	
F 次期繰越収支差額 (C−D)	48,199,639	57,736,188	+9,536,549	

貸借対照表

1997年3月31日現在　会計：阿南糸代・駒木三枝子

(単位：円)

科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1 流動資産			
現金	185,880		
現金(国際奨学)	14,902		
普通預金	8,531,834		
普通預金(若手会員育成金)	9,700,000		
定期預金	36,979,666		
郵便振替	355,000		
金銭信託(国際奨学)	1,968,906		
流動資産合計		57,736,188	
2 固定資産			
基本財産			
事業基金	44,000,000		
ホームズ基金	2,000,000		
国際奨学基金	60,000,000		
基本財産合計	106,000,000		
その他の固定資産			
土地・建物	10,000,000		
什器・備品	500,000		
電話加入権	100,000		
その他の固定資産合計	10,600,000		
固定資産合計		116,600,000	
資産合計			174,336,188
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
正味財産			174,336,188
(うち基本財産)			(106,000,000)
負債及び正味財産合計			174,336,188

監査報告　監査の結果、収入支出ともにすべて正しく記録されており、間違いのないことを証明致します。

平成9年4月8日

監事　鈴木 照子
監事　根岸 愛子

1997年度　社団法人 大学婦人協会予算書

(1997年4月1日から1998年3月31日まで)

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅰ 収入の部				
1 基本財産運用収入	1,059,000	1,049,000	10,000	
基金口座利息				
事業基金利息	439,000	429,000	10,000	
ホームズ基金利息	20,000	20,000	0	
国際奨学金基金利息	600,000	600,000	0	
2 繰入金収入	0	50,266,850	−50,266,850	
'95国際会議剰余金	0	44,124,689	−44,124,689	
'96年4月以降収入	0	6,142,161	−6,142,161	
3 入会金収入	110,000	150,000	−40,000	
入会金	110,000	150,000	−40,000	110名
4 会費収入	11,490,000	12,240,000	−750,000	
正会員会費収入	11,400,000	12,120,000	−720,000	1900口
賛助会員会費収入	90,000	120,000	−30,000	15口
5 補助金収入	2,000,000	2,500,000	−500,000	
国庫補助金収入	2,000,000	2,500,000	−500,000	
6 寄付金収入	2,100,000	3,212,100	−1,112,100	
会員その他寄付	2,100,000	3,212,100	−1,112,100	東京支部からの指定寄付を含む
7 雑収入	1,660,000	3,570,500	−1,910,500	
受取利息				
運用財産利息	50,000	50,000	0	
審査手数料収入	10,000	10,000	0	
広告料収入	200,000	300,000	−100,000	
総会参加費	510,000	640,000	−130,000	¥3,000×170名
50周年祝賀会参加費他	0	2,010,000	−2,010,000	
雑収入				
分担金	340,000	480,500	−140,500	
名簿	450,000	0	450,000	¥1,000×450名
私用電話他	100,000	80,000	20,000	
8 固定資産売却収入	10,000,000	0	10,000,000	
事務所売却収入	10,000,000	0	10,000,000	
A 当期収入合計	28,419,000	72,988,450	−44,569,450	
B 前期繰越収支差額	57,754,000	12,849,572		
C 収入合計 (A+B)	86,173,000	85,838,022		

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
Ⅱ 支出の部				
1 事業費	13,627,500	30,152,283	−16,524,783	
国庫補助事業	4,077,500	5,047,500	−970,000	
1995年IFUW国際会議支出	0	1,916,783	−1,916,783	
奨学金				¥100,000×10名
国内奨学金	1,700,000	1,700,000	0	¥80,000×5名 ¥300,000×1名
社会福祉奨学金	400,000	400,000	0	¥80,000×5名
ホームズ奨学金	100,000	100,000	0	¥100,000×1名
国際奨学金	600,000	600,000	0	
若手会員育成金	1,000,000	10,000,000	−9,000,000	
分担金				
IFUW・UWA会費	2,000,000	1,900,000	100,000	12SF×1900名
IFUW関係連絡費	200,000	200,000	0	
NGOその他	100,000	70,000	30,000	
助成金				
IFUW寄付金	200,000	200,000	0	ビーナ・ロイ基金
支部振興費	100,000	100,000	0	
各委員会活動費	800,000	1,000,000	−200,000	
印刷製本費				
名簿発行	450,000	0	450,000	
会報発行	1,400,000	1,408,000	−8,000	会報4回
通信運搬費	500,000	500,000	0	
50周年関連事業	0	5,010,000	−5,010,000	
2 管理費	6,385,000	6,986,100	−601,100	
給料・手当他				
給料・夏・冬手当	1,600,000	2,536,100	−936,100	
法定福利費	300,000	500,000	−200,000	
会議費				
総会費	1,800,000	1,760,000	40,000	
理事会費	50,000	30,000	20,000	
役員選考委員会費	5,000	5,000	0	
旅費交通費	180,000	180,000	0	
通信運搬費	400,000	400,000	0	
什器備品費	50,000	50,000	0	
消耗品費	500,000	450,000	50,000	
印刷製本費	150,000	80,000	70,000	
負担金	200,000	170,000	30,000	
光熱水料金	100,000	80,000	20,000	
諸謝金	200,000	0	200,000	
租税公課	50,000	45,000	5,000	
事務所営繕引当金	500,000	500,000	0	
雑費	300,000	200,000	100,000	
3 固定資産取得支出	45,368,654	0	45,368,654	
事務所購入支出	45,368,654	0	45,368,654	
4 繰入金支出	200,000	200,000	0	
事業基金繰入	200,000	200,000	0	
5 予備費	500,000	300,000	200,000	
予備費	500,000	300,000	200,000	
D 当期支出合計	66,081,154	37,638,383	28,442,771	
E 当期収支差額 (A−D)	−37,662,154	35,350,067		
F 次期繰越収支差額 (C−D)	20,091,846	48,199,639		